

牟禮村會議員 近藤 太郎 同 近藤澤一郎  
 同 井上 芳雄 同 井上正一  
 同 岡 佳吉 同 岡坂政五郎  
 同 岡坂謙三

資産(種目別)

一 基本金 一千八百圓  
 一 建物 七十坪  
 一 宅地 二百二十坪  
 一 田二反歩

維持方法

基本金ノ利息土地ノ收穫及寄附金等ニ依テ維持ス

備考

近來栗山堂附屬講堂ヲ利用シ謝恩會戸主會婦人會青年團等各種ノ會合ヲナスニ便宜ヲ與ヘ居リ從テ維持ヲ講スルニ容易ナル傾向ヲ來シツツアリ

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

名稱 多肥報德自治會

事務所々在地 香川郡多肥村役場

創設年月日 大正十三年四月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 佐々木體次

沿革概要

大正十三年四月教育勅語國民精神作興ノ 御詔書ノ聖旨ヲ奉戴シ村自治村教育等ヲ振興セシメントノ趣旨ニテ組織シ専ラ精神修養ヲ主眼トシテ生シ自治會ト稱セシカ  
 大正十五年一月伏見桃山報德會花田幹事ヲ招聘シ講話ヲ願ヒタル後報德自治會ト稱スルニ至リシナリ  
 村内ヲ十區ニ分チ農繁期ヲ除クノ外毎月各區ニツキテ開會以テ本日ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉戴シ國民精神ノ作興ヲ目的トス

ロ、事業 1 思想改善ノ講話

2 村制村警勸業衛生其他ノ周知會員ノ表彰

3 方法 一、毎年三四回總會ヲ開キ村民一同會ス

二、農繁期以外ノ月ハ各區毎ニ開會

會員數及分布狀況

多肥村戸主會、婦人會、青年會、處女會等ヲ統一シタルモノナリ

主ナル役職名並其氏名

世話係	佐々木體次	同	太田 勇
同	村上永次	同	酒井林平
同	高木小太郎	同	岡田重五郎
同	泉川眞一	同	川西長次郎
同	溝淵熊太	同	酒井元次
同	谷本讓	同	池田與四郎
同	田中常次	同	藤本常二郎

維持方法

村費補助ヲ受クルノ外時々寄附ヲ受クルコトアリ

昭和二年度決算額

歳入 五〇、〇〇  
 歳出

昭和二年度決算額 歳入 四五、〇〇  
 昭和三年度決算額 歳入 五〇、〇〇  
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度) 五十圓 村費補助 昭和二、三年共

\*\*\*\*\*

名稱 佐賀縣藤津郡七浦村婦人會

事務所々在地 藤津郡七浦尋常高等小學校

創設年月日 明治四十四年二月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 中野 萬龜

沿革概要

明治四十四年二月婦人矯風會設立シ毎月一回各部落ニ於テ例會ヲ開催シ婦德ノ涵養知識技能ノ啓發風俗ノ改善並生活改善社會奉仕等ニ努メツ、アリシカ大正三年四月全村ニ於ケル各支部ノ統一聯絡ヲ計ルタメ七浦村聯合婦人



會設立セラレ講師トシテ村内知識階級者並ニ有志ヲ囑託シテ毎月一回農繁期ヲ除キ例会ヲ開催シテ指導講演ノ任ニ當ル茲ニ於テ一本部十三支部カ組織的ニ設立シタ  
大正三年教化成績佳良ニツキ郡長ヨリ表彰セラル大正四年教化成績佳良ニツキ郡長ヨリ表彰セラル大正十五年三月本會事業トシテ救護班設立ス  
昭和二年八月救護班ノ効果尠ラスト認メラレ知事ヨリ表彰セラル

目的及事業種類

- イ、目的 婦徳ノ涵養、知識技能ノ啓發、風俗ノ改善、生活改善、社會奉仕
  - ロ、事業 救護班(消防災變時ニ於ケル傷病者ノ保護其他ニ從事スルモノ)
- 總集會、支部例会講演會、各講習會、視察旅行、敬老會、勤儉獎勵、生活改善宣傳、表彰實行要目勵行、教育事業後援

顧問 中村寬治 同 植松文作  
同 光武太一 同 田中清士  
同 北村一郎  
救護班頭池田ツエ  
同副班頭北村淺末  
支部長 相浦ナヲ 外十二名

資産(種目別)

一、基本金 本會 一千五百五十圓  
支會 六百三十圓  
二、器具其他物品 (救護班々服及藥品、テント其他三百七十圓)

維持方法

基本金利子 寄附金 會費(一ケ年一人六錢)  
昭和二年度決算額 歳入 二二〇、〇〇〇  
昭和二年度決算額 歳入 二二六、七七〇  
昭和二年度決算額 歳出 二二四、〇三三  
昭和三年度決算額 歳入 五四三、七四七  
昭和三年度決算額 歳出 五四三、七四七

會員數及分布狀況

會員數千六百六十四名ニシテ十三支部ニ分ツ  
伊福支部 一六四名  
江福支部 四六名  
飯田支部 一八〇名  
矢ノ浦支部 七五名  
嘉瀬浦支部 七四名  
音成支部 一三六名  
大宮道支部 六七名  
小宮道支部 七九名  
東鹽屋支部 五五名  
西鹽屋支部 三五名  
母ヶ浦支部 一二九名  
西葉支部 四八名  
奥竹支部 七六名

主ナル役職名並其氏名

役員  
會長 中野萬龜  
副會長 中村乙千代

備考

本會ハ女子青年團、主婦會ノ二部ニ分テ總括シテ婦人會ト稱ス

名稱 值賀村主婦會

事務所々在地 東松浦郡佐賀尋常高等小學校  
創設年月日 大正十一年八月六日  
經營主體又ハ代表者 代表者 岡崎千代男

沿革概要

本村教育向上發展セシムベキ點少カラサル中ニ特ニ兒童出席歩合ノ悪シキコト及ヒ女子教育ノ不振ハ其ノ最タルモノト認メラレ其ノ向上發展ヲハカルハ主婦ノ自覺ニヨラサルベカラストナシ大正十一年八月設立セリ

目的及事業種類

イ、目的 主婦ノ自覺ヲ促シ婦徳ノ涵養ト家事上必要ナル特學的知識ノ啓發ヲ計ルヲ以テ目的トス



口、事業

- 一、本會ニ於テ協定シタル事項ヲ實行ス
- 二、毎年秋一回總會ヲ開ク
- 三、總會ニ於テハ本會ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル講演ヲナス
- 四、本會ノ臨時講話會若クハ作法裁縫料理其他必要ナル事項ノ講習會ヲ開催ス
- 五、各支部ハ二ヶ月一回例会ヲ開キ本會協定事項ノ實行ヲ圖リ支部ニ必要ナル協議ヲナス

會員數及分布狀況

支部名ヲ舉クレハ左ノ如シ

北部區

今村、值賀川内、普思寺、濱之浦、平尾

南部區

東西假屋、大藪、石田、花ノ木

主ナル役職名並其氏名

會長 岡崎千代男  
 副會長 中川勝治  
 幹事 黒岩モト 同 古賀クリ  
 同 佐々木タケ 同 松村龍  
 同 大西シメ

資産(種目別)  
 貯金十圓  
 維持方法  
 補助金、會員離出金ヲ以テ維持ス

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
 二十五圓 村費補助 昭和二年度  
 二十五圓 同 昭和三年度

\*\*\*\*\*

名稱 北川副洗心會

稱務所々在地 佐賀郡北川副村役場内

創設年月日 大正十二年三月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 凌 貫 夫

格ノ向上ヲ圖ルヲ目的トス

口、事業 現下考究中ナリ

會員數及分布狀況

準會員 小學校高等科生 男八十人 女六十五人

正會員 青年團員 男百七十人 女百十人

在郷軍人會員 百七十人

主ナル役職名並其氏名

名譽會長 吉岡鶴次郎  
 會長 凌 貫 夫  
 副會長 牟田口熊太 同 武山義觀  
 專任理事 村岡常一 同 張 鶴 松  
 同 中村通智  
 外理事 四名  
 顧問 吉岡鶴次郎 同 中島三郎  
 同 横尾雅夫

沿革概要

歐洲大戰後ニ於ケル外來ノ思潮ヤ我カ國民固有ノ思想ニ  
 惡化ヲ及ホシ來タルノミナラス社會ノ風紀ハ益々浮華輕  
 佻ニ傾キシヨリ之レカ防止ト其ノ矯正ノタメニ畏レ多キ  
 三大聖訓ノ聖旨ヲ普及徹底セシムル方法トシテ村内各宗  
 寺院住職等ハ村内特志者ト相圖リ修養團體ヲ組織シ大正  
 十二年三月十五日ヨリ北川副洗心會ノ名稱ノ下ニ村内各  
 寺院ヲ巡廻會場トシテ毎月一回宛ノ講演會ヲ催シテ大正  
 十三年十二月ニ至ル更ラニ大正十四年二月村内神職ヲ加  
 ヘ村當事者ト相圖リ村民一致ノ精神修養會ヲ改設シ之レ  
 カ名稱シテ北川副洗心會ト改稱シ當年度ヨリ本村ヨリ每  
 年一百圓宛ノ獎勵金ノ下附ヲ受ケ年八回(内春秋ノ總會)  
 巡回講演會ヲ催シ現在ニ至ルモ本年度ヨリ今回新築セラ  
 レシ本村小學校講堂ヲ以テ毎回ノ會場トナセリ

目的及事業種類

イ、目的 宗教ヲ根底トシテ三大聖訓ノ聖旨ヲ奉體シ人



維持方法

現下寄附金及本村獎勵金ヲ以テス

昭和二年年度豫算額

歳入 二五〇、〇〇〇  
歳出 二五〇、〇〇〇

昭和二年年度決算額

歳入 二四五、〇〇〇  
歳出 二四五、〇〇〇

昭和三年年度豫算額

歳入 二五〇、〇〇〇  
歳出 二五〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

大正十四年度ヨリ本村ヨリ獎勵金トシテ毎年金一百圓宛ヲ交付セラル

名稱 大詔實踐團

事務所々在地 佐賀市松原町二番地

創設年月日 大正十二年十一月三日團結

大正十三年九月二十七日大詔實踐團トシテ創立

經營主體又ハ代表者 代表者 野口能毅

沿革概要

大正十二年十一月三日ヲトシ佐賀日蓮宗青年有志ノ間ニ

於テ當時東宮殿下御成婚御祝典ノ年ヲ記念シ奉リ報國ノ

赤誠ヲ表顯シテ民心ノ向上ヲ唱道セン爲メノ事業ヲ發願

シ準備會トシテ發會以降先ツ同宗内現在ノ互敬會員三百

餘名ハ會ヲ廢シテ贊同入會シ更ニ大正十三年九月二十七

日ニハ前年御換發ノ民心作興ノ大詔ヲ唯一ノ大幹信綱ト

奉戴シ廣ク社會一般ニ渡リテ會員ヲ募リ 大詔實踐團ト

名命發會ス其レヨリ先キ現常務理事當時ノ主唱者元石榮

縣知事以下地方知名ノ士ヲ訪ヒテ時勢ヲ憤シ一方師團長

ヲ訪ヒテ強論シ遂ニ感激贊同セン更ニ當代名士ヲ訪ヒ

テ熱請シ全員六百名ヲ擁シテ組織今日ニ及ヘリ但シ全員

ハ一厘ノ會費出金ヲ請ハス只元石ノ熱誠ニ働ク後援者ノ

喜捨ト元石純益ノ三分一ノ奉仕金ニテ經營シ純真ナル精

神團體ニ豈金錢ノ要アランヤ身心ヲ捧クル所一物モ惜ム

物ナシノ所信ノミナリ

目的及事業種類

イ、目的 歴代天皇ノ御聖勅ヲ奉體シテ國本ノ淵源ヲ宣明

シ國民精神ノ剛健作興ヲ圖ル之レ目的ノ第一ナリ

ロ、事業

一、教化行爲ノ根本ヲ實踐シ又セシムル事

二、適當ナル時期ニ於テ講演、文書諫行、大道野外

講演開催

三、特ニ男女青年ノ氣風振作ノ目的ヲ以テ兵營ニ於

テ縣下青年大演習舉行其他史跡地ニ於テ現地講

演教化

會員數及分布狀況

本團員ハ約六百名

分布ノ範圍ハ佐賀縣下ヲ中心トシ今日ニテハ其ノ出入ニ依リテ

全國ニ散在スルモ遠キニ隨テ稀薄ナリ

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

團長 野口能毅

維持方法

特志家ノ寄附金等ヲ以テ維持スルト雖モ自發的ノ申込ハ又少キ  
ヲ以テ緊急必要ナリト認ムル時ハ先ツ評議員ニ計ルモ容易ニ在  
金ナキヲ以テ常務理事元石榮ニ於テ第一獻身的ニ第二商業ノ利  
金中ヨリ其ノ三分ノ一ヲ醸出シツツアリ

昭和二年年度決算額

歳入 一〇〇、〇〇〇  
歳出 三〇二、〇〇〇

昭和三年年度豫算額

歳入 三八〇、〇〇〇  
歳出 三八〇、〇〇〇

(特志者ニ依リ宿泊食事ノ料等ヲ給サレタル者ヲ加算セリ)  
右ハ維持ノ方法ニ示セル如キ實情ナル爲メ明確ニ起算實行スル  
コトハ不可能ナリ



名稱 七山村積善會

事務所所在地 東松浦郡七山村大字瀧川五四三番地德永清

治宅

創設年月日 大正十二年七月二十日

經營主體又ハ代表者 代表者 中島 太

沿革概要

大正十二年社會ノ情勢稍モスレバ思想險惡ニシテ國民一般ノ精神作興ノ方策ヲ講スヘキ必要ノ秋時ノ七山小學校長菊池武治氏茲ニ考慮スル所アリテ村長小形菊太郎氏ト圖リ部落民ト會シテ協議シ聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルヘク先ツ部落各自ノ修養ヲ圖ル爲メニ積善會ヲ組織シ大正十二年七月二十日之ヲ設立セリ  
爾來順調ニ發達シテ今日ニ到ル

目的及事業種類

一、目的 聖旨ヲ奉體シ善良ナル村民忠實ナル國民タルヘキ修養ヲナスヲ以テ目的トス

六、衛生ヲ重ンシ一家ノ清潔部内道路溝渠等ノ掃除ヲ怠ラサルコト

七、會員ハ毎月二十錢以上ノ貯金ヲナスコト

八、祖先ヲ敬ヒ墓地ノ掃除ヲ獎勵スルコト

九、名士ヲ聘シ講話會ヲ開催ス

會員數及分布狀況

本會員ハ七山村大字瀧川字内野都落在住ノ住民ニシテ其ノ數百十人

主ナル役職名並其氏名

一、役員

顧問 小形菊太郎

總裁村長 三吉野晴吉

會長校長 中島 太

副會長 德永清治

評議員 藤澤政太郎 同

同 豐岡熊次郎 同

中澤德治

松田萬造

口、綱領

一、勤儉力行以テ實行ノ發展ヲ圖ルコト

二、共同一致ノ精神ヲ涵養シ弊風ヲ打破スルコト

三、知徳ヲ修養シ人格ノ向上ヲ圖ルコト

四、義務心ヲ涵養シ納稅兵役教育ノ義務ノ完成ヲ圖ルコト

五、一家團樂以テ家政ヲ整理シ衛生思想ノ普及ヲ圖ルコト

六、規約實行事項

一、本業ノ外副業ノ發達ヲ計ルコト

二、賭博ニ類スル遊戲其他國法ヲ犯ス如キ行爲ヲセサルコト

三、禮儀ヲ重ンシ長幼ノ序ヲ正シクシ言語ノ改良ヲ計ルコト

四、就學ヲ獎勵シ出席ヲ怠ラサルコト

五、租稅ヲ滯納セサルコト

口、職員

幹事 上田次三郎 同 豐岡繁太郎

會計 上田政市 同 村上政次郎

資産(種目別)

維持方法

寄附金、助成金及會員ノ離出金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 一、二〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 一一三、五二

昭和三年度豫算額 歲入 一、二〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

二十圓 縣社會事業協會ヨリノ助成金 昭和三年度

備考

當積善會員ハ自重修養シ且ツ各ツノ生業ニ精勵シ謙讓ナルヲ以テ他トノ折合ヒ非常ニ良ク神祭其他各種ノ會合皆他ト同様打混シテナスヲ以テ未ダ管テ差別的事象ヲ惹起セシコトナシ

\*\*\*\*\*



名稱 佐賀楠公會

事務所所在地 佐賀市赤松町百十九番地社務所

創設年月日 大正十四年二月十二日

經營主體又ハ代表者

代表者 伯爵 副島道正

沿革概要

世相ハ漸次暗險ニ思想ハ日々ニ惡化シ赤化宣傳ノ男女ハ  
男女ハ續々皇國各地ニモ増加シ遂ニ恐懼ニ堪ヘサル虎ノ  
門事件ヲ見ルニ至レル大國難眼前ニ横ハルノ時期ニ際會  
セルヲ以テ我國礎タル忠孝ノ實行最モ必要ナルヲ痛感シ  
茲ニ由緒深キ然モ湊川神社ノ創立ニ先ツ二十九年ノ日本  
最古ノ楠神社ヲ中心トシ本會ヲ創立シテ忠孝ノ鼓吹ト精  
神作興御詔書ノ普及徹底ヲ計ルコト、セリ  
爾後會員ノ數ハ全國ニ亘リテ漸次増加シ支部ハ最近ニ至  
リ逐日増加ノ近況ニ在リ

目的及事業種類

イ、目的 楠公父子ノ忠孝ヲ體シ忠君愛國ノ精神ヲ涵養

シ其實ヲ舉ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、楠木神社祭典ノ奉贊

二、講演會研究會、其他ノ集會

三、楠公ニ關スル圖書ノ刊行及會報ノ發行

四、前各項ノ外必要ナル事項

會員數及分布狀況

本會々員數ハ全國ニ亘リ 七千

支部ハ佐賀縣下ニ亘リ 三十

主ナル役職名並其氏名

總裁 伯爵 副島道正

副總裁 向井巖

會長 堤清

副會長 東虎彦 同 山邊生彦

監事 糸山靜一同 室島鶴吉

評議員 池田穗郎 外四十二名

理事 杉松熊六 外十二名

名譽顧問及顧問(順序不同)

名譽顧問 侯爵 鍋島直映	同 侯爵 大隈信常
同 伯爵 二荒芳徳	同 佐野常羽
同 子爵 鍋島直繩	同 子爵 齋藤實
同 子爵 小笠原長生	同 子爵 澁澤榮一
同 鍋島桂次郎	同 井上準之助
同 一木喜徳郎	同 一戸兵衛
同 宇垣一成	同 勝田主計
同 徳富猪一郎	同 川村竹治
同 松平恒雄	同 武富時敏
同 犬養毅	同 水町袈裟六
顧問 久米邦武	外十二名

資産(種目別)

一、基本金

六百圓

二、建物(社務所共用) 二千圓

三、器具其他物品 二百圓

四、大小楠公畫像及印刷物 五百圓

合計 三千二百圓

維持方法

會費及寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 七二〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 六二〇、二八

昭和三年度豫算額 歳入 四〇一、一六

昭和三年度決算額 歳入 八五〇、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 中原村婦人會

事務所所在地 三養基郡中原尋常高等小學校

創設年月日 大正十四年十月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 藤井ハツ



沿革概要

大正十四年七月時シモ村内ニ農民組合ナルモノサヘアラ  
ハル、カ如キ状態ニテ村風ヤ、亂レントスルノ時思想界  
ノ融和ヲ計リ一面教育的後援ノ意味ニ於テ婦人團體組織  
ノ必要ナル輿論起リ發起者五六名相謀リテ會員ヲ募集シ  
全ク奉仕的團體トシテ創設セラレ今日ニ至ル

目的及事業種類

- イ、目的 救護慰問、思想善導、公益團體修養團體教育施設ノ後援等奉仕的方面ノ事業ヲナスト共ニ一面會員ノ家庭改善其ノ他ノ研究ヲナシ兼テ相互ノ品性向上ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- ロ、事業 講演會、托兒所、講習會、會員ノ慶弔互助、救護慰問ノ慈善事業、會員ノ親睦ト趣味ノ向上

會員數及分布狀況

會員數 百五十名

十三支部ヨリ成ル

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

- 會長 長藤 井 ハツ
- 副會長 富崎 ウラ 同 森田 豊子
- 常務理事 權藤 ナツ 同 納富 ケイ
- 同 橋本 スエ 同 堤 タマ
- 同 廣尾 カツ 同 伊東 イト

資産(種目別)

- 一、託兒所ノ器具 百二十六圓三十錢
- 二、基本金 二百三十五圓十五錢
- 計 三百六十一圓四十五錢

維持方法

會員ノ醸出金、寄附、縣ノ助成金

昭和二年度豫算額

歳入	一九二、〇〇
歳出	一八六、〇〇
昭和二年度決算額	一七五、七三

昭和三年度豫算額

歳入	二二三、五〇
歳出	

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

百圓	助成金	昭和二年度
四十圓	同上	二年度
二十五圓	同上	三年度

\*\*\*\*\*

名稱 芦刈村主婦會

事務所々在 地 小城郡芦刈尋常高等小學校内

創設年月日 昭和三年五月九日

經營主體又ハ代表者 代表者 森 永 カズ

沿革概要

昭和三年五月九日發會式ヲ舉行シテカラ托兒所ヲ農繁期中設置シテ教育事業ヲ援助シ今又臺所改善ノ緒ニツクト共ニ各支部會ヲ發會シテ目的ノ貫徹ヲ期シツ、アリ

目的及事業種類

- イ、目的 本會ハ婦人ノ智徳ト品性ヲ涵養シ併セテ教育慈善其他公共事業ヲ翼賛スルヲ以テ目的トス
- ロ、事業 一、婦人トシテノ修養
- 二、生活上ノ改善
- 三、教育事業ノ共勵援助
- 四、社會事業ノ幫助
- 五、其他事業達成ニ必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

本會支部ハ二十六支部トス

- |        |        |
|--------|--------|
| 住ノ江支部會 | 西道免支部會 |
| 辨才支部會  | 新村支部會  |
| 六丁支部會  | 下古賀支部會 |
| 永田支部會  | 小路支部會  |
| 牛玉支部會  | 中溝支部會  |
| 三條支部會  | 舍人支部會  |
| 西戸崎支部會 | 濱中支部會  |
| 東戸崎支部會 | 八枝支部會  |



一本松支部會  
道免支部會  
中村支部會  
東道免支部會

虎坊支部會  
川越支部會  
立野支部會  
高道支部會

主ナル役職名並其氏名

イ、顧問及役員

顧問 村長 南里 琢一  
同 校長 飯盛 鼎一  
會長 森永 カズ  
副會長 吉田 ヨネ  
評議員

久原 コト  
副島 チサ  
川副 シヅ代  
立石 カネ  
木原 キン  
友田 スガ  
森永 イソ  
南里 トミ

横田 タカ  
菰田 タメ  
江口 ミエ  
下村 トミ  
辻 トキ  
千綿 ツキ  
副田 ヒデ  
川崎 ツユ

篠原 フヂ  
森永 エイ子  
横田 ツヲ  
田中 シゲ  
吉原 ワカ  
南里 ハヤ  
辻 夫人  
城戸 マシ  
古賀 トメ  
北川 ワカ  
橋間 ヌイ  
大坪 カネ  
原口 モン  
江副 トク  
大坪 コト  
大坪 ワキ

木村 フク  
久保 キヲ  
古賀 房江  
森永 夫人  
廣瀬 ミヨ  
田中 花子  
田中 路江  
土橋 タキ  
西村 タケ  
北村 千代  
橋間 リツ  
島田 ソデ  
南里 クニ  
田代 ワイ  
村上 マツ  
江頭 ウタ

ロ、職員  
幹事

永石 イワ  
南里 スガ  
林 ヒロ  
友屋 スガ  
下川 ツル  
古賀 ハナ  
徳廣 夫人  
嘉村 鈴枝  
中島 リヲ  
松尾 タバ  
木原 キン

平野 千代  
林 馨夫人  
瀬戸 口千代  
腹卷 テツ  
廣瀬 ミヨ  
野村 静子  
江口 フヂ  
飯盛 リウ  
森永 エイ子  
小學校女職員部

資産(種目別)

一、會員ノ醸出金

二、寄附金

維持方法

一、會員醸出金 二、寄附金 三、補助金、及ヒ其他ノ收入ニヨル

昭和三年度豫算額

歳入 三、八八、〇〇

奨勵金並補助金下附ノ有無

三十圓 昭和四年二月二十日

(但シ縣ヨリノ社會事業助成金)

\*\*\*\*\*

名稱 牛津町主婦會

事務所々在 地 小城郡牛津町牛津尋常高等小學校内

創設年月日 昭和三年九月二十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 副島 ヨシ

沿革概要

當町主婦會設立ニ關シテハ初メ部落單位ニ依ル方法ヲ採  
リ最後ニ全町内ヲ統一スルコト、セリ即チ昭和二年十二  
月十八日乙柳部落ノ主婦會ヲ認ムルニ至リ逐次近隣ニ及



ホシ昭和三年八月全部落ノ成立ヲ見ルニ至ル  
同年九月二十一日牛津町主婦會ト名稱ヲ附シ一町ヲ統一  
シタル會ト爲シ部落ヲ支部ト爲セリ

目的及事業種類

イ、目的 教育勸語ノ趣旨ヲ奉體シ和衷協同以テ婦人ニ  
必要ナル知能ノ開發徳性ノ涵養ヲ圖リ特ニ實  
踐躬行ヲ重シシ家事家政ノ改善ニ努メ傍ラ矯  
風公共慈善教育等ノ事業ヲ翼賛スルヲ目的ト  
ス

ロ、事業

- 一、修養上ノ諸施設
- 二、矯風上ノ調査協定
- 三、生活改善ノ研究
- 四、社會事業ノ幫助
- 五、教育事業ノ後援

會員及分布狀況

會員數 八百六十名ニシテ本會ノ目的ヲ徹底セシムル便法トシ

テ左ノ十七支部ヲ置キ毎月定日ヲ設ケテ普通例會ヲ開カシメ學  
校役場員等提携指導ノ任ニ當レリ

- 一、乙柳
- 二、生立ケ里
- 三、練ケ里
- 四、上新屋敷
- 五、中新屋敷
- 六、柿樋瀬
- 七、本町
- 八、天満町
- 九、江津
- 一〇、友田
- 一一、新町
- 一二、大丘ケ里
- 一三、江津ケ里
- 一四、高柳
- 一五、上江良
- 一六、下江良
- 一七、勝

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

- 會長 副島 ヨシ
- 副會長 古賀 イセ
- 相談役 中島 信
- 同 池田卯太郎

ロ、職員

- 幹事 荒卷タミ
- 同 秀島 侏子

維持方法

本會ハ本町在住ノ主婦全部ヲ網羅スル故ニ當分會費ヲ規定セス  
町費補助若クハ必要ニ應ジテ隨時出金セシムル方法ヲ採レリ

昭和三年年度豫算額 歳入 三〇、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 國本社長崎支部

事務所々在 長崎市萬歳町長崎控訴院内

創設年月日 昭和三年六月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 河合俊太郎

沿革概要

建國以來確乎不拔ナ基礎ノ上ニ立ツテ二千五百八十有餘  
年ノ間年ヲ逐フテ順調ナル發展ヲ遂ケタ光輝アル我帝國  
モ世界ノ大勢ノ移リ變リニツレテ近年ノ世相ハ御承知ノ  
通り甚タ寒心ニ堪ヘナイモノガアリマス此時ニ方ツテ我  
國民ヲシテ眞ニ日本人トシテ目覺メサセ畏クモ 明治大



テ居リマス

目的及事業種類

イ、目的 國本ヲ固クシ國體ノ精華ヲ顯揚スルヲ目的トス

ロ、事業 一、國家並ニ國民生活ニ關スル諸般ノ事項ノ攻究

二、德行ノ獎勵

三、雜誌並ニ有益ナル著作物ノ發行及紹介

四、講演會ノ開催

五、其他必要ノ事項

會員數及分布狀況

長崎市 五百七十人  
郡部 四百人 計 九百七十人

主ナル役職員並其氏名

支部長 河合俊太郎

副支部長 欠

幹事 伊吹元五郎 同 登原 剛藏

沿革概要

本會ハ今ヨリ二十年前ノ創立ニ係リ本部ノ指揮ニ從ヒ本會ノ使命ニ精進シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 禁酒、純潔、平和、以テ社會ノ廓清ヲ期ス

ロ、事業 本部ニ追隨ス

一、公娼制度撤廢 二、禁酒法案ノ實施

三、婦人參政權問題研究

會員數及分布狀況

會員數 六十名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

代表者 支部長 遠山うて子

副支部長 二名

ロ、職員

書記 二名

會計 一名

幹事 玉置省吾 同 中川 觀秀

同 納富甚吉 同 芦塚 秀治

同 雨森 一郎 同 淺田 新太郎

同 佐々野 富章 同 陣内 惣三郎

同 鈴木包 教 同 長谷川 寧

維持方法

市内會員ノ會費ノ一割五分ヲ以テ事務費ニ充ツ

(郡部會員會費ハ本部ニテ直接徵收)

昭和三年度豫算額 歳入 一七五、〇〇

歳出 一五五、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 日本基督教婦人矯風會熊本支部

事務所々在地 熊本市大江町九州學院内

創設年月日 明治四十四年五月

經營主體又ハ代表者 代表者 遠山うて子

維持方法

會員ノ贈出金寄附金等ニ依ル

\*\*\*\*\*

名稱 社團法人 富尾報德社

事務所々在地 熊本市池田町富尾一五一七番地

創設年月日 大正二年三月二十八日設立

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 社團法人

二、代表者 境 平 作

沿革概要

元熊本縣飽託郡池田村尋常小學校熊本縣立第一師範學校代用附屬小學校トナリタル際時ノ師範學校長羽田貞義先生ノ斡旋ニ依リ社會教育ノ一端トシテ設立社務順調ニ進ミ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 戊申詔書ノ御趣旨ト故二宮先生ノ遺教トヲ遵

奉シ勤儉推讓ノ美風ヲ獎勵シ報德ノ事業ヲ立



ツルヲ以テ目的トス

口、事業 思想善導、勤儉貯蓄、社員共濟、勸學、慈善

出捐、善行者表彰

會員數及分布狀況

會員數 九十八名

現熊本市池田町當尾及法城寺住民ヲ以テ組織ス

主ナル役職名並其氏名

理事社長 境 平作

理事 田 上 虎 八

同 東 清 八

專務理事 上 村 克

監 事 富 永 文 八

同 宇 田 岩 八

資産(種目別)

資産總額 二千七百二十八圓四十五錢七厘(積立金元利合計)

維持方法

ニ努ムル事

一、他ノ團體ト提携シテ聯合會ヲ開キ目的達

成ニ精進スル事

二、善行者ヲ表彰シ鰥寡孤獨ノ窮困者ヲ救護

スル事

會員數及分布狀況

會員數 約百名

主ナル役職名並其氏名

經營者兼幹事 水 民 百 馬

委員 林 清次郎 同 十時榮三郎

同 高野 龜 太 同 緒 方 隆 三

同 北御門 權太郎

維持方法

一ヶ年ノ經費約三十八圓乃至五十圓ニテ凡テ經營者ノ負擔トス

\*\*\*\*\*

積立金貸附利子收入ニ依ル

\*\*\*\*\*

名稱 楠町報德會

事務所々在 熊本市楠町五十七番地

創設年月日 大正二年十月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 水 民 百 馬

沿革概要

大正二年十月報德會主唱者花田仲之助氏ノ指導ニ依リ創立シ毎月五日ヲ期シテ開會教育勸語ヲ奉讀シ實行問題ヲ協議シ名士ノ講演ヲ請ヒ今日迄ノ開催度數七十四回ニ及ヒ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ノ趣旨ヲ奉體シ知恩報德ノ主意ヲ服膺實行スルヲ以テ目的トス

口、事業 一、開會ノ時必ス實行問題ヲ出シテ躬行實踐

名稱 熊本乃木講社

事務所々在 熊本市新町乃木文庫内

創設年月日 大正八年九月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 福 田 彦 助

沿革概要

大正八年小池安之師團長ニ乃木講元幹事志垣尙面會ノ上創立セラレ現今ニ至ル

目的及事業種類

目的 乃木大將ノ一代ニ於ケル實行主義ヲ圖ルヲ以テ目的トス

會員數及分布狀況

熊本 乃木講社 同中央乃木講社

同別所乃木講社 同松尾少年乃木講社

同花陵乃木講社 同大江乃木講社

同山崎乃木講社 同京陵乃木講社

主ナル役職名並其氏名

乃木講取締役 福 田 彦 助



同 副取締 溝 淵 進 馬

\*\*\*\*\*

名稱 熊本市本山町乃木講社

事務所所在地 熊本市本山町三五〇番地

創設年月日 大正十一年一月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 末 廣 清 風

沿革概要

大正十一年一月十三日會員約三十名ヲ以テ創設シ漸次區劃的ニ當地方ノ思想善導ニ志シ會員ハ結束シテ互助シ今日ニ及ヘリ現在代表者以下全員約五十名毎月十三日末廣氏宅ニ參集シ乃木將軍御影像ヲ拜シ地方ノ啓發、思想ノ善導ヲ協議ス

目的及事業種類

イ、目的 思想善導地方教化ノ目的ヲ以テ毎月十三日會員參集シ精神ノ修養地方ノ改善ヲ協議ス

維持方法

會員毎月ノ醵金積立ニ依ル

\*\*\*\*\*

名稱 熊本縣民風作興委員會

事務所所在地 熊本市南千反畑町三五熊本縣社會課内

創設年月日 大正十三年十一月十日

經營主體又ハ代表者

代表者 齋 藤 宗 宜

會員數及分布狀況

一、會員數 七千五百九十五人

二、分布狀況

飽託郡	八二五	上益城郡	五五一
宇土郡	三六八	下益城郡	六七六
玉名郡	六二一	八代郡	六七六
鹿本郡	六二七	芦北郡	二九九
菊池郡	三二八	球磨郡	六一七

ロ、事業 尙會員ノ家事ニ於ケル祝事無精等ニハ舉ツテ

參與シ互助ノ目的ヲ達成ス

會員數及分布狀況

熊本市本山町全町ニ亘ル

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

取締 末 廣 清 風

副取締 增 永 榮 次 郎

同 中山 米 八

ロ、職員

幹事 松 浦 謙 二 同 山 本 齊

同 平 田 清 同 石 原 正 副

同 奥 村 桂 八 同 稻 田 宗 一

同 井 手 逸 同 柳 川 彦 太 郎

同 中 澤 元 康 同 高 島 萬 藏

同 神 谷 大 八 同 笹 木 一 郎

同 他 八 名

阿蘇郡 三一三 天草郡 一、六九四

主ナル役職名並其氏名

會長 齋 藤 宗 宜

副會長 眞 船 民 伊 同 畑 山 四 男 美

常務幹事 山 田 新 三 郎 同 福 家 惣 衛

同 三 好 豊 太 郎 同 金 森 茂 太 郎

同 高 本 武 彦

備考 此ノ外學校職員、軍人、神職、僧侶、牧師等囑託講師

アルモ多數ニ付其ノ氏名ヲ略ス

維持方法

内務省獎勵金、縣民風作興委員會費

昭和二年度豫算額 歳入 二、七八〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 二、五五八、二七

昭和三年度豫算額 歳入 三、七〇〇、〇〇

\*\*\*\*\*



名稱 熊本縣昭和會

事務所々在 熊本縣廳社會課內

創設年月日 昭和三年八月一日

經營主體又ハ代表者

代表者 畑山 四男 美

沿革概要

國民偕和ノ實ヲ舉ケ以テ共存共榮ノ目的ヲ達スル爲メ昭和三年八月一日創立セリ

爾來着々トシテ前記目的ノ達成ト内容ノ充實ヲ期シテ努力シツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 同胞親和ノ實現ヲ期スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、親和ニ關スル必要事項ヲ調査研究スルコト

二、親和ノ宣傳ニ努ムルコト

三、親和ノ實現ニ努ムルコト

四、其他必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

イ、會員數 千九十三名

ロ、分布狀況 熊本縣下一般 縣外會員ハ本縣出身者

主ナル役職名並其氏名

名譽總裁	細川 護立
總裁	齋藤 宗宣
會長	畑山 四男 美
副會長	山田 新三郎
理事	要名本 丹五郎 同 富岡 茂
	宮田 憲一 同 佐藤 直
	高本 武彦 同 渡邊 尙廣
	伊藤 平八 同 山口 乾治
	高尾 文八 同 金森 茂太郎

維持方法

會費、寄附金、補助金及ヒ其他ノ收入ニ依ル

昭和三年度豫算額 歲入 三、五〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

五百圓 國庫補助金 昭和三年

\*\*\*\*\*

名稱 草牟田報德會

事務所々在 鹿兒島市草牟田町南洲寺內

創設年月日 大正十一年八月九日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 會員 組織

ロ、代表者 川畑 宗次郎

沿革概要

大正十一年七月當町青年團體タル竹馬會ノ提唱ニ基キ丸

山青年會並ニ町內先輩有志多數ノ賛同ヲ得テ同年八月九

日發會式ヲ舉ケ爾來漸次會員ヲ增加シ毎月一回例會ヲ開

キ各自ノ修養並ニ社會公德ノ發達向上ヲ圖リ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 教育ニ關スル勅語ノ御趣旨ヲ奉體シ其實踐ニ

努ムルヲ目的トス

ロ、事業 一、毎月實行問題ヲ協定シテ其徹底的實行ヲ

期ス

二、印刷物ヲ發行シテ周知宣傳ヲ行フ

三、名士ノ講演ヲ請テ會員ノ修養啓發ニ資ス

ルコト

會員數及分布狀況

會員數 五百名

草牟田町居住者ヲ主トシ新照院町永吉町ノ一部ヲ加ヘ老若男女

各種ノ階級ヲ網羅ス

主ナル役職名並其氏名

常任幹事 川畑 宗次郎

同 梅北 兼敏



常任幹事 山下小之助

商議員 宇田貞安 外十九名

幹事 前田仲左衛門 外二十五名

相談役 山口武二 外七名

資産(種目別)

金五百圓 割増金附勸業債券額面

維持方法

寄附金並ニ資産ヨリ生スル利息收入ニ依ル

昭和二年豫算額

歳入 一二〇、〇〇

昭和二年決算額

歳入 一一八、五〇

昭和三年豫算額

歳入 一八〇、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人沖繩自營會

事務所所在地 那覇市西新町三丁目十八番地眞教寺内

創設年月日 明治四十四年三月十一日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 財團法人

ロ、代表者 田原法馨

沿革概要

明治二十二年十一月、眞教寺住職田原法水カ個人的ニ沖繩監獄出獄者ヲ保護セルヲ以テ縣下ニ於ケル免囚保護ノ濫賜トシソノ後嗣子現住職田原法馨ハ沖繩監獄教誨ノ傍ヲ久シイ間ニ亘ツテ繼續セシモ、明治四十四年三月十一日「沖繩自營會」ノ名稱ノ許ニ時ノ典獄伊藤孝三、檢事正大井七郎ノ諸氏ト計リ一般篤志家ヨリ三千圓ノ寄附ヲ仰キ、又、土地建物會社ノ厚意ニ依リ、眞教寺隣接ノ新埋立地六十六坪八合ノ寄附ヲ受ケ、此處ニ現在ノ宿舍ヲ新設シ、爾後本會ノ基礎ハ鞏固トナリ、大正四年十月二十五日財團法人ノ認可ヲ受ケ次イテ、大正六年五月國頭郡名護町ニ國頭支部翌大正七年六月宮古郡平良町ニ宮古

支部ヲ設立シ、更ニ大正九年五月中頭郡ニ中頭支部ヲ設立セルニ至リ保護ノ成績モ頗ミニ見ル者アルニ至ル、大

正十二年十一月斯業御獎勵ノ爲メ、畏クモ皇室ヨリ御内帑金ノ御下賜アリ、續イテ昭和二年ニ至ル迄全國優良保護團體トシテ勿體ナクモ七度ニ亘ツテ御下賜金ヲ拜戴スルノ光榮ニ浴セリ、(以下抄略)

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ左ノ各號ニ該當スル者ヲ保護シ自活ノ

途ヲ得セシメ再犯ヲ防壓シ之ヲ善導シテ社會ノ良民

タラシムルヲ以テ目的トス

一、沖繩刑務所ヨリ釋放セラレタル男女ニシテ保護ノ必要アリト認メタルモノ

二、他ノ刑務所ヨリ釋放セラレタル沖繩縣ノ在住者ニシテ保護ノ通知ヲ受ケタルモノ

三、那覇地方裁判所檢事局ヨリ起訴猶豫又ハ不起訴

其他トシテ保護處分ニヨリ依囑ヲ受ケタルモノ

ロ、事業種類 司法保護事業

會員數及分布狀況

保護ノ範圍ハ縣下一圓ニシテ左ノ支部ヲ有ス

一、國頭支部 國頭郡名護町

二、宮古支部 宮古郡平良町

三、中頭支部 中頭郡宜野灣村

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長理事 田原法馨

理事 小嶺幸慶 同 麓純義

同 福山仁之助 同 知花朝章

同 伊藤雅二 同 大田朝敷

同 城間恒淳 同 米次源吉

同 池畑不二男

ロ、職員

幹事 松野良太郎



書記會計 安 東 荒 喜  
 保護主任 菊 池 現 亮  
 國頭支部主任 原 卓 照  
 宮古支部主任 豐見山 寬 常  
 中頭支部主任 城 盛 傳

資産(種目別)

- 一、基本金 九千二百三十五圓
- 二、建物(事務室、被保  
護者室權利金) 二千五十圓一錢
- 三、器具其他物品 百十四圓三十二錢
- 四、復興貯蓄債券十枚 百圓
- 合計 一萬一千九十九圓三十三錢

維持方法

寄附金、補助金獎勵金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	二、三四〇、〇〇
	歳出	二、二七三、八三
昭和二年度決算額	歳入	一、五九一、六八
	歳出	一、一八八、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	二、一八八、〇〇
	歳出	二、一八八、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金三百圓	御下賜金	昭和三年二月十一日
金三百圓	御下賜金	同 四年二月十一日
金三百圓	司法省獎勵金	同 二年度
金二百五十圓	縣ヨリノ補助金	同 二年度
金三百圓	司法省獎勵金	同 三年度
金二百五十圓	縣ヨリノ補助金	同 三年度

備考

- 一、授産場並ヒニ農園新設ノ計畫中ニシテ恩賜財團法人慶福會ニ對シ、補助方申請三回ニ及ヒタルモ、其實現ヲ見サルモ逐次組織準備ヲナシツ、アリ
- 二、三支部以外ニ支部増設ノ件研究中
- 三、御大典ニ際シ恩典減刑釋放者ニ對スル保護方獎勵ノ爲財團法人輔成會ヨリ金三百圓ノ助成金ヲ受ク。

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人 球陽學園

事務所所在地 那霸市松下町一丁目七十一番地

創設年月日 明治四十四年八月二十五日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

口、代表者 菅 深 明

沿革概要

明治四十三年十一月現院長菅深明本派本願寺開教使トシテ來縣シ可憐ナル保護少年多クシテ余モ新法ノ恩典ニ浴セサルヲ憐ミ自ラ衣食ノ資ヲ割キテ不良兒ヲ收容シ四十四年八月私立沖繩感化院ヲ設立シ夫人澤子保姆トシテ之ヲ助ケ專ラ感化救濟ニ盡力シ縣下ノ識者ニ斯道ノ忽緒ニ附スヘカラサルコトヲ行脚シテ説キ遂ニ金六千餘圓ノ賣捨金ヲ得テ大正四年八月財團法人組織トナシ球陽學園ト改稱シ同年十二月縣代用ニ指定セラレ爾來菅團長夫妻無給ニテ是ニ當リ今日ニ及フ

目的及事業種類

目的 聖訓ヲ奉體シ感化法ニ依リ保護兒童ノ感化教育ヲ

目的トス

主ナル役職名並其氏名

團長兼教諭	菅 深 明
保姆主任	菅 澤 子
教諭兼族長	藤 本 純 孝
教諭心得	白 阪 博 伺
保 姆	藤 本 房 枝
主 事	龜 島 大 成
主 醫	田 中 音 吉
顧 問	細 川 長 平
理 事	福 井 茂 一
同	麓 純 義
同	南 嘉 次 郎
同	川 畑 默 志
監 事	武 島 一 義



監事 小嶺 幸慶

資産(種目別)

- 一、基本金 七千七百四圓
- 二、建物 一萬五百圓(工事費)
- 三、器具物品 五百五十圓

維持方法

基金ヨリ生スル果實、縣補助金、本願寺補助、有志者寄附

昭和二年度豫算額

歳入 四、一七六、三八

昭和二年度決算額

歳入 三、五〇四、六〇

昭和三年度豫算額

歳入 四、三八一、五八

奨励金並補助金下附ノ有無

金一百圓 御下賜金

大正十一年二月十一日

政府ノ補助

大正九年十年二回

\*\*\*\*\*

名稱 南陽佛教婦人會

事務所所在地 那霸市松下町一丁目大典寺

創設年月日 明治四十四年十一月十八日

經營主體又ハ代表者 代表者 菅 澤子

沿革概要

菅澤子明治四十三年夫菅深明開教使トシテ來縣同伴人情風俗言語ノ全ク他府縣ト異ナリ迷信深キヲ憐ミ本會ヲ組織シ毎月一回集合精神講話ヲ聽聞シ年一回總會開催國家時局ノ際ハ臨時各方面ノ婦人ニ相應シクル活動ヲ起シ今日ニ及フ歴代縣知事夫人ヲ名譽會長ニ推選ス

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ佛教主義ニ依リ婦人ノ本分ヲ盡

シ家庭改良ヲ目的トス

ロ、事業 沖繩家政女學校經營ス

會員數及分布狀況

會員 百八十五人

主ナル役職名並其氏名

會長 菅 澤子  
 幹事 和泉 ハル 同 宮元 千代

外十名

評議員 川畑 ムメ 同 渡邊 テイ  
 同 田代 ミヤ 同 南 テイ  
 會計 田代 タカ 同 井科 シケ  
 同 川畑 末子

資産(種目別)

- 一、基本金 三百三十圓
- 二、建物 五千五百圓(校舎)
- 三、器具物品 千二百圓
- 合計 七千五十圓

維持方法

會員ノ會費、寄附

昭和二年度豫算額

歳入 二、三〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一、五七、四五  
 歳出 一、五九、五〇  
 昭和三年度豫算額 歳入 二、四五、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 沖繩佛教青年會

事務所所在地 那霸市松下町一丁目大典寺内

創設年月日 明治四十四年十一月二十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 菅 深明

沿革概要

明治四十三年十一月菅深明本願寺開教使トシテ來縣翌年八月現今ノ敷地九百坪ヲ購入セシヲ以テ宗教心薄ク且犯罪者ノ多キヲ憂慮シ教育勸語ト成申詔書ヲ根元トシ聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルヘク佛教ノ教義ヲ開催セシメ國家ト宗教ニ對シ信徒ノ本分ヲ盡シ現當二世ノ幸福ヲ全セシメンタメ本會ヲ設立シ始メ商業學校樺山純一ヲ會長ニ選舉シ



昭和二年ニテ就職會員ヲ指導シ來リシカ東京商科大学へ  
轉任ニ付現會長第二中學校長改選今日ニ及フ  
目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ佛敎主義ヲ以テ青年男女ノ活動  
ヲ目的トス

ロ、事業 一、沖繩佛敎圖書館設置  
二、教化事業補助並ニ思想善導講演會開會等

會員數及分布狀況

會員數 六十五名

主ナル役職名並其氏名

會長正六位 志喜屋孝信  
副會長 小久保正守 同 板橋 叶  
會計 南 卯一郎 同 鬼塚 駒 男  
幹事 馬場 清次 同 宇良 宗 龜  
同 上岡 秀美 同 山里 永吉  
同 川畑喜代治

顧問 菅 深明  
資産(種目別)

- 一、基本金 二百圓
- 二、圖書 約三千餘圓
- 三、器具物品 三百五十圓

維持方法

會員ノ贖金、寄附

昭和二年度豫算額 歲入 三五〇、〇〇  
歲出 三五〇、〇〇  
昭和二年度決算額 歲入 三三九、六〇  
歲出 三三九、六〇  
昭和三年度豫算額 歲入 三五五、〇〇  
歲出 三五五、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 沖繩基督教各派聯合敎役者會

事務所々在地 那霸市久米町一丁目八番地

創設年月日 大正五年四月十七日

經經主體又ハ代表者 代表者 伊 東 平 次

沿革概要

確實ナル記録ニヨレハ

大正五年四月十七日ノ創設ニシテ

當時ノ加入團體ハ日本メソヂスト敎會、日本バプテスト敎會、日本基督教會ノ三派ナルモソレ以前明治三十年前後ニ  
日本バプテスト、日本メソヂスト日本聖公會ノ敎役者時々  
會合シ教化事業ノ爲共同運動ヲナシ居タル由ナレトモ確カ  
ナル記録ハナシ

目的及事業種類

イ、目的 クリスト敎ヲ傳ヘ信仰ノ確立ヲ圖ルヲ以テ目  
的トス

ロ、事業 一、各敎派敎會間ノ親睦ヲ圖ル事  
二、各地方ニ於ケル傳道事業ヲ盛ナラシムル

方法ヲ講スル事

三、對外的ノ諸問題ニ對シテ協議ヲナシ各ソ  
ノ方法ヲ講スル事

四、研究發表、講演會開催等

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ目下十三敎團ニシテ其ノ名稱左ノ如シ

- 沖繩バプテスト敎會 首里バプテスト敎會
- 糸滿バプテスト敎會 垣花バプテスト敎會
- 嘉平納バプテスト敎會 那覇日本基督教會
- 首里日本基督教會 津覇日本基督教會
- 日本メソヂスト那覇中央敎會 日本メソヂスト首里敎會
- 日本メソヂスト與那原敎會 日本メソヂスト讀谷山敎會
- 日本メソヂスト泡瀨敎會

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 伊 東 平 次  
書記會計 照 屋 寬 範



資産(種目別)

各教會ヲ事務所トシテ用ヒ、會長任期中其ノ會長ノ屬スル會堂  
ヲ使用スル事トス。

維持方法

會費及ヒ特別寄附金ニヨル。

\*\*\*\*\*

名稱 官幣小社波上宮附屬波上講社

事務所々在 地 那覇市波上宮

創設年月日 昭和三年十一月

經營主體又ハ代表者 代表者

沿革概要

波上 宮

昭和三年御大禮記念トシ沖繩縣知事ノ認可ヲ得テ創設シ  
今日ニ至ル。

目的及事業種類

イ、目的 官幣小社波上宮ヲ崇敬シ忠君愛國ノ精神ヲ普

及宣傳ス

ロ、事業 社會教化事業ノ參與

會員數及分布狀況

會員數 五百五十名

那覇市

主ナル役職名並其氏名

講長 小林盛哉

理事 福地民雄

同 高橋正明

評議員 四十名

資産(種目別)

一、基本金 百圓

二、印刷物 十圓

合計 百十圓

維持方法

講社ノ餘金及寄附金

昭和三年度豫算額

歳入

六〇〇、〇〇〇

歳出

四〇〇、〇〇〇

\*\*\*\*\*

朝鮮 十四團體  
臺灣 五團體  
關東州 二十三團體



名稱 大邱府立圖書館

事務所所在地 朝鮮大邱府東雲町

創設年月日 大正八年七月

經營主體又ハ代表者 代表者 山崎 眞雄

沿革概要

大正八年七月社會教化ノ一端トシテ設置セラレタルモノ  
ニシテ其後大正十二年現在ノ建物ヲ新築シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本圖書館ハ總督政治ノ文化政策ニ順應シ民衆  
ノ智識德操ハ勿論生活ノ向上ニ資スルヲ目的

トス  
ロ、事業 圖書ノ館内閱覽、館外貸出、巡廻文庫、

讀書會、講演其他

主ナル役職名並其氏名

館長 山崎 眞雄  
主任 歌原 恒

事務員

俞

泰

芑

資産(種目別)

- 一、敷地 一萬一千二百五十圓
- 二、建物 三萬二千五百五十圓
- 三、圖書 一萬八千圓
- 四、器具其他 千八百五十圓

維持方法

府ノ經營スル所

昭和二年度豫算額 歳出 五、四七一、〇〇〇  
 昭和二年度決算額 歳出 五、二一〇、〇三  
 昭和三年度豫算額 歳出 六、二七六、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 和光教園

事務所所在地 京城府觀水洞一〇二番地



創設年月日 大正九年十月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 荻野 順導

沿革概要

現淨土宗朝鮮開教區長久家慈光師ノ主唱ニ依リ佛教ノ實義ニ基キ朝鮮人ヲ教化シ隣保相扶ノ實ヲ舉クヘク其ノ具體的方法トシテ都市細民ノ生活向上ヲ計ル綜合的濟貧計劃ノ隣保事業ヲ興スコト、シ之カ資金ヲ信徒福永政治郎氏ニ委囑シ之カ經營ヲ主事荻野順導師ニ委囑シコ、ニ本園ノ創立ヲ見、大正九年十月十五日教化部、學園部、宿泊部ノ三部ヲ開設セリ

爾來事業ハ更ニ事業ヲ生ミ翌年紹介部、相談部ノ設置ヲ見、次テ食事部、理髮部、浴場部ノ開設ヲ見、更ニ廉賣部、救護部ヲ置キ引續キ托兒部、授産部ト進展シ現在ノ十二部ヲ經營スルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 佛教ノ實義ニ基キ社會ヲ淨化シ個人ヲ完成ス

計ル

九、浴場部 無料入浴便宜ヲ與フ

一〇、救護部 浮浪徘徊ノ徒ニシテ事情窮迫ノモノニ一食一泊ノ救護ヲナス

一一、廉賣部 購買組合ノ第一步ニ元價供給品ヲナス

一二、授産部 手工業ノ傳習ヲナス

一三、其ノ他前條ノ目的ヲ達スル必要ナル事業

會員數及分布狀況

一、教化部 和光教會々員數四六〇人 和光日曜學校生徒數九八五人

二、學園部 和光學校生徒數七二四人 和光實習夜學校二〇四人

三、保育部 和光幼稚園々兒五七人 和光託兒所兒童三七人

四、宿泊部 宿泊人員三、二八三人 同延人員二四、二一八人

(三年度一ケ年間ノ成績)

五、紹介部 就職者九三三人 (同上)

六、相談部 人事相談人員 一七〇四人 (同上)

七、食事部 食事人員 延人員 二、一五二人

ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、教化部 成人及少年ニ情操並ニ宗教的信念ノ培養ヲナス

二、學園部 貧困兒女及勞働子弟ニ朝鮮教育令ニ依ル初等教育ヲ施ス

三、保育部 托兒保育ノ任ニ當リ幼兒ニ必要ナル身心ノ訓練ヲナス

四、宿泊部 勞働保護ノ任ニ當リ宿泊ノ任ニ當リ宿泊ノ便宜ヲ與フ

五、紹介部 失業及無業者ノ保護ニ任シ職業紹介ヲナス

六、相談部 人事相談ノ任ニ當リ自活指導ノ保護ヲナス

七、食事部 簡易ナル食事ノ實費給食ヲナス

八、理髮部 簡易ナル理髮ヲナシテ衛生思想ノ普及ヲ

八、理髮部 理髮人員 八六五人 延人員二、五九五人

九、浴場部 入浴人員 延人員一、五六八人

一〇、救護部 救護人員六三〇人 同延人員五、六三〇人

一一、廉賣部 加入人員九〇〇人

一二、授産部 傳習生三五人

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

理事總務 久家 慈光 理事專務 荻野 順導

理事庶務 小野 和之 理事會計 岡治 定治

顧問醫學博士古 城 憲 治 顧問 福永政治郎

ロ、職員

主 事 荻野 順導 學園部主任白 篠 義 雄

授産部主任 松 本 三 郎 教化部主任 平 田 謙 光

宿泊部主任 李 驥 鎬 保育部主任 黃 温 順

資産(種目別)

一、基本金 三千圓

一、建物 六萬九千七百二十圓



一、敷地 三萬四千八十圓  
 一、器具其他物品 一萬一千九十圓  
 合計 金十一萬七千八百九十圓

維持方法

寄附金、補助金、獎勵金及事業收入ニヨル

昭和二年年度豫算額 歲入 四一、二一八、一〇

昭和二年年度決算額 歲入 三五、二二〇、四三

昭和三年年度豫算額 歲入 四七、七二六、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金五百圓 御下賜金 昭和二年二月十一日

金二千圓 朝鮮總督府補助金 同二年十二月

金八百圓 京畿道廳補助金 同上

金六百圓 京城府廳補助金 同上

金一千二百圓 特別補助朝鮮總督府補助金 同三年三月二十三日

金五百圓 御下賜金 同三年二月十一日

金二千圓 朝鮮總督府補助金 同三年十二月

金八百圓 京畿道廳補助金 同上

金六百圓 京城府廳補助金 同上

金一千五百圓 慶福會助成金 昭和四年二月十一日

備考

和光教園東大門分園ヲ設ケ目下託兒部、學園部ノ二部ヲ開設近  
 ク各部ヲ設クル組織準備ニ着手中ナリ、目下財團法人設立ノ出  
 願中ナリ

\*\*\*\*\*

名稱 京城府立圖書館鐘路分館

事務所所在地 京城府鐘路通二丁目三十七番地

創設年月日 大正十年九月九日

經營主體又ハ代表者 京城府

沿革概要

大正十年九月九日李範美氏(現朝鮮總督府事務官)創立  
 シ京城圖書館ト稱シ經營シ來リタルモノニシテ大正十四  
 年四月一日京城府之ヲ讓受ケ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

目的 圖書ノ蒐集閱覽ニ供スル以テ目的トス

維持方法

京城府營

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人金泉尙善會

事務所所在地 慶尙北道全郡金泉面大和町三百四十番地ノ

一

創設年月日 大正十年十一月八日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

ロ、代表者 松原新一

沿革概要

大正十年七月十五日大邱監獄命泉分監ノ開廳ニ伴ヒ免囚  
 保護事業設立ノ必要ヲ生シ金泉所在官民相謀リ尙州善山  
 聞慶各郡有志ノ援助ノ下ニ社會事業ノ一端トシテ刑事政  
 策ニ順應スルノ目的ヲ以テ同年十一月八日之ヲ設立セリ

當時總督府ヨリ八百圓ノ補助ヲ仰キ翌年三月現在地ニ小  
 規模ノ收容場ヲ建設シ次テ大正十三年四月金泉少年刑務  
 所ノ獨立特設セラル、ニ至リ全鮮各地ヨリ青年受刑者集  
 禁セラル、ニ及ヒ本事業ノ使命一層重且大ナルニ至レリ  
 仍テ大正十五年七月事業ノ發展ト保護ノ徹底ヲ期スヘク  
 財團法人設立ノ出願ヲナシ同年十一月二十五日之ヲ許可  
 セラレ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 左記各號ニ該當シ相當ノ保護者ナキ者ヲ保護

スルヲ目的トス

一、釋放者、二、留置場ヨリ出場シタル者

三、刑ノ執行猶豫、起訴猶豫又ハ訓戒放免ノ處分ヲ

受ケタル者 四、前各號ニ定メタル者ノ携帶兒

ロ、事業 一、收容保護、二、一時宿泊、三、歸住旅費

及衣類等ノ惠與、四、職業紹介及輔導、五、貸

家經營及製品ノ販賣、六、前條ノ目的達成上必



要ナリト認メラル、事項

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 松原新一 理事 井上茂  
 常務理事 藤田吉平 監事 有澤作次  
 幹事 高崎親和 評議員 伊藤季薰  
 評議員 輕部久喜 同 好見清一  
 同 辻賢二 同 二村政了  
 同 鴨志田金三 同 土谷榮太郎  
 同 杉浦龍巖 同 松井鼎  
 同 田代佐次郎 同 杉山彦藏  
 同 趙秀衍

ロ、職員

主事 江上直治 同 水間彪一  
 同 白川末喜 同 日高繁

資産(種目別)

- 一、基本金 七百圓
- 二、經常費 一千二百八十五圓九十五錢
- 三、建物敷地 四百十二圓五十錢
- 四、建物 二千三百三十圓七十八錢
- 五、器具其他ノ物品百三十九圓九十四錢
- 六、商品 二百十一圓三十六錢
- 合計 五千八十圓五十三錢

維持方法

寄附金、補助金、其他事業ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 八、六五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 八、四三一、一七

昭和三年度豫算額 歳入 八、三八一、七六

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

三百圓 朝鮮總督府ヨリ補助金 昭和二年度

三百圓 同上 同 三年度

一百圓 道地方費ヨリ補助金 同 二年度

一百圓 同上 同 三年度

イ、目的 御聖勅ヲ奉戴シ國民精神ノ作興ヲ圖リ日鮮融

和ニ資スルヲ目的トス

ロ、事業種類 一、學園部 二、職業紹介

三、教化宣傳

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

園長 旭 寬 成  
 理事 相川太治郎 同 小田時太郎  
 同 御厨休七 同 恒川忠助  
 同 馬崎勝 同 杉本一守  
 同 小卷眞壽二 同 高原常一  
 同 源五郎丸只吉 同 中島周四郎

ロ、職員

旭 寬 成 羅 鐘 權  
 禹 洪 根

資産(種目別)

名稱 鎮海立正慈教園

事務所所在地 慶尙南道昌原郡鎮海面寺町一番地

創設年月日 大正十一年八月十二日

經營全體又ハ代表者 代表者 旭 寬 成

沿革概要

大正十一年八月鎮海妙法寺住職旭寬成師ノ發願ニ基キ自坊ヲ開放シ附近不就學ノ狀況ニアル貧民鮮童ヲ集メ夜學會ヲ起シ簡單ナル國語、朝語、書方、數ヘ方ヲ教エ一面在籍兒童ヲ内地人店先キニ紹介シ就職ヲ促カシ勤儉ト勞働ノ神聖ヲ説キ進メ日鮮融和ニ資スルヲ以テ理想トシ同十三年十月慶和洞中朝鮮人部落ニ假園舎ヲ設立ス大正十五年十月更ラニ現在ノ地ニ會館ヲ建設シ、學園部、授職部、教化宣傳部ヲ興スニ至レリ

目的及事業種類



- 一、建物(會館) 五千二百圓
- 二、器具其他ノ物品 七百圓
- 合計 五千九百圓

維持方法

寄附金、補助金獎勵金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 八五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 八三〇、〇〇  
歲出 八二〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 九五〇、〇〇  
歲出 九五〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

金二百圓 朝鮮總督府ヨリノ補助金 昭和三年度

\*\*\*\*\*

名稱 馬山福壽會

事務所々在 慶尙南道馬山府玩月洞三二〇番地

創設年月日 大正十一年九月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 光英博明

(イ)金言揭示(ロ)福壽會恩賜記念文庫

- 三、各地講演部、民力涵養、思想善導講演
- 四、活動寫眞部、思想善導、産業開發、副業獎勵
- 五、其他前條ノ目的ヲ達成上必要ナリト認メラル、

事項

會員數及分布狀況

收容者ハ馬山在住者ヲ中心トシテ全鮮ニ一般ニ亘ル

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 光英博明

理事 松本多藏 同 目加田平三郎

同 奥田萬藏 同 松村恒輔

同 松村清吉

ロ、職員

六 敬 變 李振守 姜上達

資産(種目別)

一、基本 金 四百六圓七十一錢

沿革概要

大正十一年九月一日ニ勞働者ノ夜學ヲ開始シテヨリ追々收容人員増加シ大正十三年十一月會館ヲ建築シテ授産職業紹介、文章傳道部、各地講演部、活動寫眞部ヲ設ケ昭和二年二月十一日福壽會恩賜記念文庫ヲ開設セリ是レハ大正十三年十四年十五年宮内省ヨリ御下賜金ヲ拜受シ是レヲ記念スル爲メニ開設セリ而シテ一人テモ此ノ大ナル恩惠ニ浴シテモライタイ爲メナリ又大正十四年ヨリ少年保護事業モセリ追々ニ堅實ニ進ミ其ノ實ヲ舉ケツ、アリ

目的及事業種類

- イ、目的 貧民救濟、思想善導、内鮮融和保護事業
- ロ、事業

一、鮮人教化部

(イ)勞働夜學校(ロ)授産事業(ハ)職業紹介

(ニ)少年保護事業

二、文章傳道部

二、建物及土地 建物 六千圓 土地 一千二百十八圓

三、器具其他物品 七百四十五圓

四、書 物 六百圓

合計 八千九百六十九圓七十一錢

維持方法

寄附金、補助金、其他會長ノ出資等ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 二、三四九、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 一、四四一、〇〇  
歲出 一、四四一、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 二、一〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

金三百圓 宮内省ヨリ御下賜金 昭和二年 同三年度

金八百圓 國庫並ニ地方補助金 昭和二年 同三年度

\*\*\*\*\*

名稱 京城府立圖書館

事務所々在地 京城府長谷川町



創設年月日 大正十一年十月五日  
 經營主體又ハ代表者 京 城 府  
 沿革概要

大正十一年七月一日京城府立圖書館規程ヲ設ケ同九月二十八日同使用條例ヲ同十月一日閱覽規程ヲ制定シ京城府明治町二丁目同年十月五日ヨリ開館ス  
 大正十五年府内鍾路二丁目所在京城圖書館ヲ買收シテ分館トス

昭和二年五月二十五日府内長谷川町ニ移リ同三年七月一日新館竣工シ現在ニ至ル

目的及事業種類  
 目的 圖書ノ蒐集閱覽ニ供スル以テ目的トス

維持方法  
 京城府營

昭和二年年度豫算額	歳入	一、九〇〇、〇〇〇
	歳出	二五、二四〇、〇〇〇
昭和二年年度決算額	歳入	一、六九七、一二
	歳出	二四、八五一、四七

昭和三年年度豫算額

歳入 二、六八〇、〇〇〇  
 歳出 三〇、八〇五、〇〇〇

名稱 財團法人開城大成會

事務所所在地 京畿道開城郡松都面高麗町千三十三番地

創設年月日 大正十一年一月

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

ロ、代表者 徳江宣隆

沿革概要

本會ハ開城少年刑務所ノ釋放者保護ヲ目的トシ大正十二年一月創立(刑務所ノ新設ニ後ル、コト四ヶ月)同年五月敷地七百七十一坪ヲ買收シ事務室及收容舎二十三坪ヲ建設シ保護ヲ開始シ開成大成會ト命名ス當時會長トシテ松都面長ヲ推シ顧問トシテ刑務所長、郡守、判、檢事、警察署長等職ニ在ル者及地方有力者一名ヲ舉ケ又評議員

トシテ右以外ノ官民有志五十餘名ヲ置キ以テ事業ヲ翼成シ常務ハ專ラ刑務所職員ニ依囑セリ而シテ創設當時ハ主トシテ當地官民有志ノ寄附並本府ヨリノ補助金等ニ依リ維持經營シ被保護者ニ對スル授職ノ如キモ敷地ノ一部ニ於ケル蔬菜ノ栽培、日傭人夫、網漉等ニ過キサリシカ漸次收容者ノ増加ト共ニ業種ノ選擇ト收容者ノ習得作業助成ノ必要ヲ認メ指物、鍼力、洋裁縫等ヲ開始シ又畑作ヲ擴張シ其ノ他養鶏養豚等ニ從事セシメツ、アリ

昭和二年六月財團法人設立ノ出願ヲ爲シ同年六月二十三日之ヲ許可セラレ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 刑務所ヨリ釋放セラレタル者及留置場ヨリ出シタル者並刑ノ執行猶豫ノ起訴猶豫又ハ訓戒放免ノ處分ヲ受ケタル者ニシテ相當ノ保護者ナキ者ヲ保護スルヲ以テ目的トス

ロ、事業  
 一、被保護者ノ收容

二、授職  
 三、職業紹介  
 四、衣類、旅費ノ貸給與、乘車輪旋其ノ他ノ一時保護等

主ナル役職名並其氏名

イ、役員	會長理事 徳江宣隆	副會長理事 村光輝	同 立川榮次
	監事 伊森賢三	同 孫鳳祥	
	同 孔聖學	同 鈴木義衛	
	同 大町和佐吉	同 金川繁一郎	
	同 岡本豊喜		
評議員	六十名		
ロ、職員			
主事	七名	專任主事	一名

資産(種目別)



昭和三年三月三十一日現在

- 一、地所 五百七十一圓六十六錢
- 一、建物 千六百九十八圓八十五錢
- 一、什器 三百二十一圓二十五錢
- 一、家畜 六十五圓
- 一、製品 百五十五圓六十錢
- 一、預金及手元保管金 千二百五十圓三十六錢
- 合計 四千六十二圓七十二錢

維持方法

寄附金、補助金事業収入其他ノ収入ニヨル

- 昭和二年度豫算額 歳入 一、〇三二、二七〇  
歳出 四、四三七、七六五
- 昭和二年度決算額 歳入 五、六八八、一二五  
歳出 四、四三七、七六五
- 昭和三年度豫算額 歳入 九、五七七、〇〇〇  
歳出 九、五七七、〇〇〇
- 獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)  
二百圓 御下賜金昭和三年二月十一日  
四百圓 同 同四年二月十一日  
四百圓 朝鮮總督府ヨリノ補助金同二年度  
四百五十圓 同 三年度

對策トシテ大正十二年十月時ノ朝鮮總督齋藤子爵ノ指定ニ依リ山紫水明ニシテ精神修養ニ最モ適當セル咸鏡南道松田半島舊海軍防備隊ノ位置ヲトシ其ノ建物ノ使用承認ヲ得テ朝鮮總督府直轄ノ下ニ本校ノ設立ヲ見タリ

目的及事業種類

目的 左記兒童ノ感化教養ヲ目的トス

- 一、年齢八歳以上十八歳未満ノ者ニシテ不良行爲ヲ爲シ不良行爲ヲ爲スノ虞アリ且ツ適當ニ親權ヲ行フモノナキモノ
- 二、十八歳未満ノ者ニシテ親權者又ハ後見人ヨリノ其入院ヲ出願シタル者
- 三、裁判所ノ許可ヲ經テ懲戒場ニ入ルヘキ者

小學校程度ノ教育ヲ授ケ同時ニ實科トシテ農業大工裁縫漁業ヲ實習セシム

會員數及分布狀況  
兒童募集區域ハ全鮮ニ亙リ收容定員百名ナリ  
創立以來滿五年間ニ收容シタル兒童百二十三名、内改悛退院兒

二百圓 京畿道ヨリノ補助金同二年度  
二百圓 同 同三年度  
七十圓 内地輔成會ヨリノ助成金同三年十一月

備考 昭和三年十月東京司法保護團體財團法人輔成會ニ加盟セリ

\*\*\* \*\*

名稱 永興學校

事務所々在 地 咸鏡南道文川郡松田灣

創設年月日 大正十二年十月一日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 朝鮮總督府  
二、代表者 朝鮮總督府內務局

沿革概要

朝鮮ニ異常兒童感化施設ノ必要ナルコトハ既ニ久シキ以前ヨリ當事者間ノ懸案ナリシカ年ト共ニ都市ニ於ケル不良兒童著シク増加シ其ノ弊害モ亦激増シタルヲ以テ之カ

五十三名中多少不良ナルモノアルモ家庭ニ歸リ家事ニ從事スル者ハ郷里ノ學校ニ轉學シタル者、商店、工場等ニ徒弟トナリタル者等皆活動シツツアリ

主ナル役職名並其氏名

- 伊藤藤太郎
- 稻垣光晴
- 李文炯

資産 (種目別)

固定セル資産ナキモ學校ニ於テ管理セル海軍用地ノ耕地ヲ農業實習地トシ其ノ山林ヲ學校林トシテ作業シ同時ニ其ノ生産收入ヲ歳入トス

維持方法

朝鮮總督府特別會計社會事業施設費

昭和二年度豫算額	歳入	一、三〇〇、〇〇〇
	歳出	三六、〇七一、〇〇〇
昭和二年度決算額	歳入	三、四七〇、〇〇〇
	歳出	三六、〇七一、〇〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一、三〇〇、〇〇〇
	歳出	三六、〇七一、〇〇〇

備考



收容定員男女百名ナルモ現在マテ收容セシハ男子ノミナリ

\*\*\*\*\*

### 名稱 釜山 共生園

事務所々在地 慶尙南道釜山府水晶町一ノ二一番地

創設年月日 大正十三年四月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 大田 秀山

#### 沿革概要

釜山共生園ハ佛教ノ根本精神タル共生即チ明ルキ住ミヨキ社會ヲ建設シ萬人トソノ生キ甲斐ヲ成就セントノ念願ヲ朝鮮同胞ノ上ニ行ハン爲ニ大正十三年四月釜山恩知寺信者ヲ中心トシテ知恩寺本堂ヲ假園舎トシ創立、教化部、學園部、授産部、遊園部、母乳紹介部ヲ設ケ大正十五年四月鹽州町ニ園舎ヲ借入新ニ託兒部、兒童健康相談部、調査部ヲ設ケ昭和三年六月現在地ニ園舎新築シ實費診療部

#### 維持方法

後援會々費ヲ主トシ事業收入寄附金補助金等ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 一一、四七〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 九、三二五、八四

昭和三年度決算額 歳入 九、三二五、五一

奨勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

御下賜金 昭和三年二月十一日下賜サル

七百圓 昭和二年度 政府ヨリノ補助

\*\*\*\*\*

### 名稱 修養團朝鮮聯合會

事務所々在地 京城貞洞二一九

創設年月日 大正十三年四月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 宇津木勢八

#### 沿革概要

大正九年京城ニ石田門田見兩氏仙宕原ノ講習後奮起シ慶

ヲ設ケ社會淨化運動ニ努力シ今日ニ至ル

#### 目的及事業種類

イ、目的 大乘佛教ノ根本精神タル共生即チ共生キヲ成就セントスルモノテ鮮人ノ向上運動ニ鮮人教化事業ヲ行フ

就セントスルモノテ鮮人ノ向上運動ニ鮮人教化事業ヲ行フ

ロ、事業 隣保事業ニシテ現在ノ事業目ハ即チ教化部、授産部、託兒部、母乳紹介部、遊園部、學園部、診療部調査部ノ八部門ナリ

授産部、託兒部、母乳紹介部、遊園部、學園部、診療部調査部ノ八部門ナリ

#### 主ナル役職名並其氏名

##### 役員

園長 大田 秀山

主事 北 出立 仙

資産 (種目別)

#### 資産 (種目別)

一、基本 金 二千五百圓

二、建 物 一萬二千圓

三、器具其他物品 二千七百三十圓

合計 一萬七千二百三十圓

北ニ於テ中山呼應シ烽火ヲアク十一年八月金剛山ノ講習會開催時ノ齋藤總督、守屋庶務部長、松村學務課長大イニ贊助サレ橋本氏京城支部長トシテ起チ各地ニ支部ヲ設立サル、ニ至リタルヲモツテ大正十三年四月年ヲ追フテ主義主張ノ共鳴者出テ各道ニテ講習會開催ノ機運ニ向ヒ今ヤ全鮮ニ本團精神ミナキルニ至リ六十以上ノ支部ヲ有シ團員六千以上準團員數十萬ニ及フ

#### 目的及事業種類

イ、目的 全鮮ノ支部ヲ統整シ汗愛ノ實行實働ニツトメ

内鮮融和ノ實現ニ努力ス

ロ、事業 早起會、國民體操、月刊雜誌、毎月一回講演會、講習會男子婦人、家庭集會、パンフレツ

ト、單行本取次、修養團朝鮮時報、救濟(臨時) 向上會館(宿泊部)

#### 會員數及分布狀況

團員 六千



準團員 數十萬

全鮮ニ亙リ各地ニアリ現在支部數六十以上

主ナル役職名並其氏名

理事	松村松盛	同常任	宇津木勢八
同	松本伊織	同	高橋濱吉
同	戸田直温		
幹事	中山貞雄	同常任	石田和市
同	門田見陳昌	同	橋本茂雄
同	和久正志	同	宮田保
同	林田佐太郎		

維持方法

總督府ノ補助本部ノ補助

昭和二年度豫算額

歳入 九、五七〇、〇〇  
歳出 〇

昭和二年度決算額

歳入 七、二三四、二六  
歳出 〇

昭和三年度豫算額

歳入 八、三八〇、〇〇  
歳出 〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

本府ヨリ毎年補助金ヲ受ケ

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人 朝鮮佛教團

事務所々在地 京城府長谷川町十七番地

創設年月日 大正十四年五月六日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

沿革概要 代表者男爵韓 昌 洙

朝鮮ニ於ケル宗教界ノ情勢ニ鑑ミテ佛教ノ振興普及ヲ圖リ人心ヲ教化善導スルヲ目的トシテ大正九年朝鮮佛教大會創立セラレタルカ爾來同會ノ基礎鞏固トナリ設立者小林源六氏ノ奮起ト同會ノ事業ヲ贊同スル有志ノ援助トニ依リ財團法人組織ノ計畫成リ名稱ヲ朝鮮佛教團ト變更シ其ノ筋ヨリ大正十四年五月六日付ヲ以テ法人設立許可ノ指令ヲ受ケ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的

朝鮮ニ於ケル佛教ノ振興普及ヲ圖リ人心ヲ教化善導シ民衆ノ福祉ヲ増進スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、講演會、講習會及活動寫眞會ノ開催
- 二、朝鮮人布教師ノ養成
- 三、各種佛教團體トノ聯絡及後援
- 四、機關新聞ノ發行及佛教上有益ナル圖書印刷物ノ發行
- 五、佛教ニ關スル研究及調査
- 六、教育慈善其他必要ト認メタル社會事業ニ關スル施設及補助
- 七、佛教上功勞アル者ノ表彰
- 八、内地佛教見學員ノ派遣
- 九、其他本團ノ目的ヲ達スル爲メ必要ナル事項

會員數及分布狀況

本部、支部、地方部並贊助員數

名稱	贊助員數	名稱	贊助員數
本部	三二六	平壤支部	六二
新義州支部	三〇	大邱支部	一三九
釜山支部	九九	光州支部	八九
全州支部	五〇	清州支部	一三七
海州支部	三九	春川支部	五五
羅南支部	一〇〇	咸興支部	四〇
公州支部	五三	沙里院地方部	五五
沃溝郡地方部	八一		
合計	一、三五五		

主ナル役職名並其氏名

役員			
團長理事	男爵 韓 昌 洙		
副團長	理事 前 田 昇		
當任理事	張 憲 植	同	中村健太郎
同	小林源六		
理事	白 寅 基	同	朴 榮 喆
同	李 圭 元	同	高橋章之助



理事 釘本藤次郎 同 大和與次郎  
 同 吳斗煥 同 寺尾猛三郎  
 同 澤村九平 同 金寬鉉  
 監事 韓相龍 同 山口太兵衛  
 同 鈴木文次郎

資産（種目別）

一、基本金 三萬三千九百四十六圓六錢  
 二、土地建物 一萬四千六百六十五圓  
 三、器具其他 二千七百九十七圓七十六錢

合計 五萬一千四百八十二圓

維持方法

寄附金、贊助員離出金其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 二七、〇五三、〇〇  
 歳出 二七、〇五三、〇〇  
 昭和二年度決算額 歳入 二七、〇五三、〇〇  
 歳出 二七、〇五三、〇〇  
 昭和三年度豫算額 歳入 一九、七〇三、〇〇  
 歳出 一九、七〇三、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 天理教内鮮同慶會

事務所々在地 大邱府鳳山町六四番地

創設年月日 昭和二年二月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 上原義彦

沿革概要

本會ハ朝鮮人教化事業ノ一機關トシテ昭和二年二月大邱府鳳山町二百三十番地ニ家屋ヲ建築シ貧民子女ノ教化ニ着手シ夜學部及女塾部ヲ設ケ専ラ普通教育並職業的技藝ヲ授ケ同年九月敷地三百八坪ヲ購入シ現建物ヲ建築ス次テ校舍一棟ヲ増築シ專授産部ヲ設ケ貧困鮮人ノ授産指導ニ着手シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ天理教ノ教旨ニ基キ、朝鮮人ノ教化ニ從事シ、併テ内鮮融和ノ達成ヲ期シ社會文化ノ發達ニ貢獻スルヲ以テ目的トシ右目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

口、事業

一、簡易圖書館

一、教化講演會及指導

一、其他社會ノ公益及救護並内鮮融和ニ必要ナル諸事業

主ナル役職名並其氏名

會長 上原義彦  
 監事 尾崎松之助 同 井上徳市  
 掌事 清水豊吉  
 書記 岸田吉兵衛  
 講師 大木芳雄 同 金振龍  
 同 清水フミ

資産（種目別）

建物會館 一萬圓  
 教室 三千圓  
 附屬建物 一千圓  
 器具其他 二千圓

計 一萬六千圓

維持方法

東京市下谷區天理教東大教會對鮮教化費

昭和二年度豫算額 歳入 二六、三三〇、〇〇  
 歳出 二六、三三〇、〇〇  
 昭和二年度決算額 歳入 二四、七二五、二七  
 歳出 二四、七二五、二七  
 昭和三年度豫算額 歳入 一六、一三〇、〇〇  
 歳出 一六、一三〇、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 朝鮮報徳會

事務所々在地 京城府内務課内

創設年月日 昭和三年十一月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 肥塚正太

沿革概要

昭和三年十一月三日創立發會式ヲ舉ゲ今日ニ至ル

目的及事業種類



イ、目的 報徳ノ教訓ヲ鼓吹シ家庭及社會ノ改善進歩ヲ計リ國運ノ發展ニ貢獻スルニアリ

ロ、事業

- 一、講演、講習會開催
- 二、圖書印刷物ノ發行
- 三、家政整理、人事相談
- 四、左ノ事項ニツキ獎勵又ハ援助

イ、部落自治ノ改善

ロ、社會事業

ハ、産業及金融機關

ニ、補習教育

會員數及分布狀況

京城府 約二百名

主ナル役職名並其氏名

常務理事 肥塚 正太 同 石原 磯次郎  
 同 久保田 六三郎 同 幹 翌 教  
 同 全 旭 聖

名稱 臺北州聯合同風會

事務所所在地 臺北州內務部教育課內

創設年月日 大正八年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 片山 三郎

沿革概要

本會ハ大正八年十一月臺灣教育令發布ニ際シ臺北市ニ於ケル本島人有志自ラ進ンテ德教ノ振興、國語ノ普及、習俗ノ改善等大ニ新教育令精神發揚ニ努メントセルニ胚胎セリ、大正八年四月ニ艋舺同風會、同五月ニ大稻埕同風會ノ發會ニ引續キ各地ニ同風會設立セラレ同九年七月ニハ臺北廳聯合同風會ノ成立ヲ見ルニ至レリ  
 大正九年臺灣地方制度改正セララル、ヤ舊桃園廳管內ナル同風會及舊宜蘭廳管內ナル敦風會ト併セ臺北州聯合同風會ノ組織成リ爾來順調ナル發達ヲ遂ケ來リシモ益々之カ助成ヲ圖ルノ要ヲ認メ大正十四年六月同風會ニ關スル州訓令發布セラレ組織更ニ整備シ内容改善セラレ今日ニ至

理事 林 菅吉 同 李 東 熾

同 李 康 熾 同 李 圭 完

同 李 恒 植 同 韓 相 龍

同 吉 村 傳 同 高 木 德 彌

同 馬 野 精 一 同 鈴 木 藤 次 郎

同 大 和 與 次 郎 同 山 田 禎 輔

同 增 田 三 穗 同 元 惠 常

同 藤 村 忠 助 同 古 城 龜 之 助

同 三 上 豐 同 進 辰 馬

同 陳 內 茂 吉 同 執 行 猪 太 郎

同 平 井 九 一 郎

維持方法  
 推讓金又ハ補助金

\*\*\*\*\*

レリ

目別及事業種類

イ、目的 州内各聯合同風會ノ連絡統一ニ勗メ其ノ健實ナル發達ヲ圖ルコト

ロ、事業 從來實施セル主ナル事業

- 一夜修養講習會 各郡聯合同風會及市同風會ノ事業
- 督勵 國語演習會 青年讀本編纂 活動寫眞映寫技
- 術員講習會 本島生活改善及本島民衆娛樂ニ關スル
- 調査 國語普及功勞者表彰 優良教化團體優良同風
- 會表彰 青年會長打合會 優良街庄同風會視察 社
- 會教育視察 勅語詔書等ノ印刷配付 青年修養講習
- 會 本島ニ於ケル美事善行實話集編纂 巡回講話會
- 教化用各種宣傳ビラ作製配付 國語ヲ解スル本島人
- 調査 青年會報發行 青年會聯合運動會 處女會長
- 打合會 街庄同風會役員懇談會 社會教育ニ關スル
- 調査研究 青年修養講話會 活動寫眞巡回映寫 同



風會研究會 同風會功勞者表彰 國語日ノ設定 演  
劇研究會 青年會員合同登山會 青年音樂會 青年  
體育會

會員數及分布狀況

臺北州聯合同風會—郡聯合同風會—市街庄同風會—

戶主會	一〇二〇
主婦會	一〇二〇
青年會	八三
處女會	二八

主ナル役職名並其氏名

會長 片山 三郎  
副會長 猪股 松之助  
同 內海 忠司  
幹事長 鈴木 秀夫  
幹事 深谷 壽之 同 田中七三郎  
同 橫尾 廣輔 同 中村不羈兒  
資産(種目別)

創設年月日 大正十一年十二月十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 生駒 高常

沿革概要

大正十一年時ノ臺中州知事常吉德壽氏州下ノ社會教育機關ノ統一指導ノ必要ヲ感シ一面思想善導民心啓發ノ緊要ナルヲ思ヒ同年十二月十七日本會ヲ設立セリ

目的及事業種類

イ、目的 文化ノ向上、地方自治ノ振興社會ノ改良民力ノ充實ヲ圖リ以テ健全ナル國民精神ヲ發揚スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 國民精神ノ涵養、自治精神養成公共心ノ作興、國語ノ普及、向學心ノ喚起、風俗ノ改良、衛生思想ノ向上、體育ノ獎勵、産業ノ發達、生活ノ改善思想善導等ニ關スル事項其他

會員數及分布狀況

會員 州下ニ於ケル各種教化團體ヲ正會員ト見做ス

基本金 二萬一千九百四十七圓二十三錢

器具其他ノ物品 六百九十圓五十錢

圖書 六百六十一圓八十二錢

計 二萬三千二百九十九圓五十五錢

維持方法

臺北州ヨリノ補助金ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 二、九一六、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 三、二四九、〇〇  
歲出 二、七四、九一

昭和三年度豫算額 歲入 三、九四五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

臺北州ヨリ毎年二千圓ノ補助金ノ下附ヲ受タ

\*\*\*\*\*

名稱 向陽會

事務所々在地 臺中市幸町一丁目一番地(臺中州廳内)

支會 州下各市郡ニ支會ヲ置ク  
分會 州下各街庄ニ分會ヲ置ク

主ナル役職名並其氏名

會長 生駒 高常  
副會長 岩 滿 重  
同 楊 吉 臣

維持方法 州費補助

昭和二年度豫算額 歲入 五五〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 五五〇〇、〇〇  
歲出 五〇〇〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 五〇〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

五千圓 州費補助金 昭和二年度

五百圓 教會事業ノ獎勵會ヨリ助成金

五千圓 州費補助金 同三年度

\*\*\*\*\*

名稱 赤誠會

事務所々在地 臺北州臺北市北門町十一番地

創設年月日 大正十三年七月一日



經營主體又ハ代表者 代表者 渡邊佳氣人  
沿革概要

大正十二年九月一日帝都方面震天動地ノ大災厄勃發シ畏クモ同年十一月十日國民精神涵養振作ニ關スル御詔書ノ御渙發アリ這ハ實ニ君國全體ノタメ忘ルヘカラサルコト、シ渡邊佳氣人著國民精神歌ヲ翌十三年一月二十六日攝政宮殿下御慶典奉祝ノ日ニ於テ發表間モナク其ノ第十一節ノ赤誠ノ限り盡スヘシニ依リテ赤誠會創立ノ準備ニ着手シ同年七月一日ヲ以テ發會ス

目別及事業種類

イ、目的 國民精神涵養振作

ロ、事業 每週屋外講演、機關紙(宇宙の心)發行、窮貧兒童夜學會、人事相談所、授産場

會員數及分布狀況

現今會員 四千五百名、毎月二百餘名増加シツ、アリ  
臺北市大稻埕分會  
基隆市支部  
基隆郡瑞寶分會  
新竹州後龍支部

主ナル役職名並其氏名

理事長理事 渡邊佳氣人  
理事 小宮哲郎 同 若狹寶作  
同 蘇先致 同 周清桂  
監事 貞安 操 同 藤田善次郎  
同 陳河猪

資産(種目別)

一、基本金 五千圓  
二、建物 千五百圓  
三、器具機械 三千五百圓  
四、印刷物 五百圓  
計 一萬五百圓

維持方法

會費、及授産部印刷課ヨリノ利益金  
昭和二年度豫算額 歲入 八、〇〇〇、〇〇  
昭和二年度決算額 歲出 八、五〇〇、〇〇  
昭和三年度豫算額 歲入 一三、〇〇〇、〇〇  
歲出 一三、〇〇〇、〇〇  
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
三十圓 臺北州ヨリ 昭和二年二月十一日  
三十圓 同 同

イ、目的 文化ノ向上社會ノ改良ヲ圖リ健實ナル民風ヲ

作與ス

ロ、事業 一、風教作興ニ關スル事業  
二、國語普及ニ關スル事業  
三、體育獎勵ニ關スル事業  
四、社會改良ニ關スル事業  
五、救恤慈善ニ關スル事業  
六、其他社會教育ニ關スル事業

會員數及分布狀況

支會 臺南州一市十郡ニ十一支會  
分會 同 六十七街庄ニ六十七分會  
支會長ハ當該郡守市尹ヲ以テ充テ分會長ハ街庄長ヲ以テ之ニ充ツ  
會員數ハ不明  
通常會員 申込ニヨリ會員トス  
特別會員 會長ノ推薦

名稱 臺南州共榮會

事務所所在地 臺南州廳教育課内

創設年月日 大正十四年十月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 片山三郎

沿革概要

一、大正十四年十月三十日教育デー當日創立同時ニ各郡市ニ支會街庄ニ分會ヲ設ク  
二、大正十五、昭和二年度ハ金六千圓昭和三年度ハ金五千五百圓各支會ニ獎勵金ヲ交附シ各支會ノ獨立ヲ企

圖ス

目的及事業種類

特別會員 會長ノ推薦



主ナル役職名並其氏名

長 片山三郎 副會長 橫光吉規  
 同 石井龍猪 幹事 堀内林平  
 幹事 青木健一 同 小林六之助  
 書記 長谷川榮 同 鈴木章良  
 同 鈴木弘之 同 松本 轍  
 同 池田唯治郎 同 川崎儀一  
 外ニ評議員若干名アリ

維持方法

毎年臺南州ヨリ金一萬圓ノ獎勵金交附ヲ受ケ維持ス

昭和二年度豫算額 歳入 一、二二〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一、〇一、五九

昭和三年度豫算額 歳入 一、九〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

昭和二年臺灣教化事業獎勵會長ヨリ金五百圓交附セラレ

\*\*\*\*\*

名稱 臺灣精神社

事務所々在地 臺南市東門町二丁目彌陀寺内

創設年月日 大正十五年一月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 王 兆 麟

沿革概要

大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書發せラル、ヤ臺灣總督府當局及ヒ地方有志ト計リ大正十三年十一月十日臺北ニ於テ精神作興大講演會ヲ開キタルヲ始トシ爾來各地ニ於テ其ノ普及宣傳ヲ行ヒタリ、尙大正十五年一月十日臺南ニ於テ臺灣精神社ヲ設立シ專ラ本島人ノ精神教化ニ努メタリ

目的及事業種類

イ、目的 佛教ヲ信仰シ國民精神作興ヲ圖ルヲ以テ目的

トス

ロ、事業 一、雜誌精神界(月刊)ヲ發行ス

二、精神作興印刷物發行

會員數及分布狀況

本社加盟團體ハ左ノ如シ

精神作興俱樂部 鳳山宜講社

主ナル役職名並其氏名

役員 顧問 青木健一

同 楠 基道

代表者 王 兆 麟

資産(種目別)

器具其他物品 二百五十六圓

維持方法

寄附金獎勵金助成金其他ニヨル

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金一百圓 獎勵金 昭和三年十一月十日

金五百圓 助成金 同 四年一月十八日

\*\*\*\*\*

名稱 營口佛教婦人會

事務所々在地 滿洲營口寶來街三

創設年月日 明治卅九年四月

經營主體又ハ代表者 代表者 營口本派本願寺

沿革概要

日露戰役直後營口隊布教使本願寺出張所設立、同時ニ婦人教化ヲ目的トシ佛教婦人會ヲ組織セル今日ニテ當地唯一ノ婦人團體トシテ救濟恤兵等各方面ニ活動セリ

目的及事業種類



目的 婦人ノ教化ヲ目的トシ、救濟、恤兵、社會事業ヲ

會員數及分布狀況

九十名 營口市内

主ナル役職名並其氏名

- 會長 古川 琴子
- 幹事 加島 ハツ 同 乃美 千代
- 同 田邊 ミサホ 同 酒井 タツ
- 同 田邊 幸 同 伊藤 カナ
- 同 坂井 正子 同 宮原 初子

資産(種目別)

金五百圓 積立金

維持方法

經常費ハ會費ニヨリ特種事業ハ其都度寄附ニヨル

昭和二年度決算額

經常費 一五〇、〇〇  
事業費 二〇〇、〇〇

昭和三年度決算額

歳入 三〇〇、〇〇  
歳出

小學校 四二

其他 三一

計 二三八

主ナル役職名並其氏名

- 會長 藤原 鐵太郎
- 理事 増田 道義
- 幹事 荒井 平馬 同 水野 豊
- 同 土方 省三 同 山口 二郎
- 同 高橋 司 同 古賀 竹次郎
- 同 良川 榮作 同 古野 保一郎

外ニ委員數氏アリ臨時事務ヲ擔當ス

維持方法

會費 寄附金、圖書販賣益金及補助金ヲ以テ維持ス

昭和二年度決算額

歳入 二、一〇〇、〇〇  
歳出

昭和二年度決算額

歳入 一、八七〇、八二  
歳出 一、三二七、八五

昭和三年度決算額

歳入 一、八七四、〇〇  
歳出

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

名 稱 興 文 會

事務所々在 地 旅順民政署

創設年月日 大正九年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 藤原鐵太郎

沿革概要

大正九年四月教育職員及地方有志ヲ以テ組織ス

目的及事業種類

イ、目的 思想ノ善導啓發

地方人ニ對スル文化普及

ロ、事業 一、教育事業ノ後援

二、青年團少年團等ノ助成

三、貧困兒童ノ學資補給

會員數及分布狀況

普通學堂 一二〇 公學堂 四五

恩賜財團教化事業獎勵資金ヨリ

百圓 昭和二年度

二百圓 同 三年度

名 稱 財團法人大連基督教青年會

事務所々在 地 大連市敷島町六七、六九、七一、七三番地

創設年月日 明治四十四年四月十八日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 財團法人

二、代表者 福田 稔

沿革概要

一、日露戰爭ノ際日本基督教青年會同盟名譽主事ニシテ

軍隊慰問ノ任ニ當リタル「シーウキヒツパード」氏ハ

時ノ關東洲ニ民政署長關屋貞次郎氏ニ懇願シテ在滿

青少年ノ爲メ青年會館建設ノ急ヲ唱ヘ明治四十三年

六月自ラ工費五萬圓ヲ投シテ現在ノ地ニ會館建設ニ



着手シ同四十四年四月十八日開館ノ式ヲ舉行ス

二、大正十四年四月建設者タル「シーウキヒツパード」氏

ノ寄附ニ依リ之レヲ財團法人組織ニ更メ同時ノ會館

増築ノ必要ヲ痛感シ一般ノ援助ノ下ニ同年九月増築

起工同十五年七月十一日竣工開館ノ式ヲ舉行セリ

目的及事業種類

イ、目的 青少年ヲシテ基督ヲ標準トシテ其品性ヲ陶冶

シ智能ヲ啓發シ身體ヲ鍛鍊シ高潔ナル社交ヲ

享樂シ自己ノ修養ニカムルト共ニ他人ノ裨益

ヲ圖ラシメ以テ天道人道ノ發展ヲ期スルヲ目

的トス

ロ、事業種類

一、宗教部 一、教育部 一、體育部

一、少年部 一、社交部 一、會員部

一、宿舍部 一、庶務部 一、會計部

會員數及分布狀況

一、會員種類

イ、贊助會員 口、通常會員 八、學生會員

二、會員數 昭和四年二月一日現在

イ、贊助會員 五五名 口、通常會員 八〇八名

八、學生會員 八七名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

理事長 福田 稔

副理事長 勝俣喜十郎

理事 中川竹太郎 同 原田榮造

同 鈴木正雄 同 藤山一雄

同 山下利兵 同 柴田博陽

同 市原三六郎 同 安藤齊次

同 藤田秀郎 同 原田修三

ロ、職員

總主事(理事兼務) 中川竹太郎

外職員七名

資産(種目別) 昭和四年一月一日現在

一、土地 五萬六千六百六十七圓五錢

一、家屋 十五萬五千二百六十二圓

一、備品 一萬八千圓

一、預金 二千六百七十四圓四十七錢

合計 二十三萬二千三百九十七錢

負債(低利資金借入) 五萬四千三百六十五圓三十一錢

維持方法

會員離出ノ會費、寄宿舍費、寄附金、補助金及其他ノ收入ニ依

ル

昭和二年度豫算額 歳入 四二、四六二、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 二二、二四六、九九

昭和三年度豫算額 歳入 五〇、五八〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

恩賜財團教化事業獎勵資金(關東廳)  
三百圓 昭和二年度  
五百圓 同 三年度  
七百五十圓 同 三年度(關東廳)

\*\*\*\*\*

名稱 金州獎學會

事務所所在地 金州民政支署内

創設年月日 大正九年五月二十八日

經營主體又ハ代表者 代表者 森 重 干 夫

沿革概要

本會ハ大正九年五月二十八日金州獎學會ノ名ノ下ニ金州  
普蘭店皮子窩ノ三友會ヲ以テ組織セラル、ヤ地方官民ノ  
盡力ト各會有識者多數ノ贊襄ヲ得テ忽チ千六百餘名ノ入  
會者ヲ得同年九月二十八日ヲ以テ役員ノ選任ヲ終ヘ十月  
八日其發會式ヲ舉ケタリ



爾來各支會夫々各地方ノ實狀ニ鑑ミ適當ナル事業ヲナス  
ト共ニ又一面金州獎學會トシテ各支會ノ統一制御ニ任セ  
ツ、アリシカ大正十三年四月以降各支會ノ便宜ヲ顧慮シ  
ツ、經理ハ各支會獨立ニテナサシムルコト、シ同年十二  
月三日各支會ハ全然各獨立シテ事業ノ經營ヲナスニ至リ  
現在ニ及ヘリ

目的及事業種類

- イ、目的 金州民政支署管内ニ於ケル教育ノ改良進歩ヲ  
圖リ會村教化ノ普及ニ努ムルヲ以テ目的トス
- ロ、事業 一、教化事業ニ關スル調査研究ヲナスコト  
二、教化事業獎勵助成スルコト  
三、事業振興ニ關スル施設ヲナスコト  
四、其他前條ノ目的達成ニ必要ナリト認メル  
事項

會員數及分布狀況

百四十名

管内小學校公學堂普通學堂教員及學事關係者  
主ナル役職名並其氏名

- 會長 森 重 干 夫  
評議員 金洲管内各會長  
幹事 池 田 公 雄 同 渡部喜兵衛  
同 泉 柳次郎 同 松本良房  
同 國島 四 郎 同 重干夫

維持方法

管内各會ノ寄附及會員ノ會費

- 昭和二年度豫算額 歲入 二、八六五、〇〇  
歲出 二、八六五、〇〇  
昭和二年度決算額 歲入 二、八六五、〇〇  
歲出 二、八六五、〇〇  
昭和三年度豫算額 歲入 六、二六五、〇〇  
歲出 六、二六五、〇〇

\*\*\*\*\*

名 稱 日本基督教婦人矯風會大連支部

事務所々在地 大連市西公園町メソヂスト教會内

創設年月日 大正十年五月六日

經營主體又ハ代表者 代表者 岡安きよし

沿革概要

大正十年三月矢島輯子姉來連セラレ約二十名位ノ同志ヲ  
得矯風會ヲ設立ス、爾來漸次其會員數ヲ増シ目的ニ向ツ  
テ努力シツ、今日ニ及ブ

目的及事業種類

- イ、目的 平和、純潔、禁酒ノ三項目ノ下ニ社會ノ矯風  
ヲ計ルヲ目的トス
- ロ、事業 矯風會本部事業ヲ助ク

會員數及分布狀況

現在數 九九名

主ナル役職名並其氏名

- 支部長 岡安きよし  
副支部長 田邊房子 同 千葉ひろ子

昭和三年度豫算額 歲入 一、五九三、八七五  
歲出 一、五九三、八七五

\*\*\*\*\*

維持方法

會員會費、贊助會費

- |      |           |       |
|------|-----------|-------|
| 會計   | 紺谷松枝 同    | 佐志節子  |
| 記錄書記 | 勝俣員枝子 同   | 藤井滿壽子 |
| 通信書記 | 松谷歌子 同    | 岡田輝子  |
| 文書部  | 田邊房子 同    | 岡田輝子  |
| 教育部  | 千葉ひろ子 修養部 | 岡安きよし |
| 財務部  | 千村壽恵子     |       |
| 廢酒部  | 佐治貴美子 同   | 松澤久尾  |
| 家庭部  | 勝俣員枝子 同   | 黒澤照子  |
| 風俗部  | 岡本梅子 同    | 佐志節子  |
| 法律部  | 松谷歌子      |       |
| 交際部  | 荻原露子 同    | 濱上篤子  |
| 同    | 橘 小庸      |       |



名稱 普蘭店獎學會

事務所所在地 普蘭店民政支署内

創設年月日 大正十二年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 本莊宗三

沿革概要

大正九年十月八日金州獎學會普蘭店支會トシテ設立セラレシカ大正十二年四月一日普蘭店獎學會トシテ分離獨立シ現在ニ到リシモノナリ

目的及事業種類

- 一、學校教育ニ關スルコト
- 二、社會教育ニ關スルコト
- 三、講習並視察ニ關スルコト
- 四、教育其ノ他公共事業功勞者並德行著者ヲ表彰スルコト
- 五、會報ヲ發行スルコト
- 六、以上ノ外教育上必要ト認メタル施設ヲナスコト

會員數及分布狀況

普蘭店民政支署管内十八會ニ散在シ會吏員小學校、公學堂、普通學堂、教職員其ノ他有志者計二百八十有餘名

主ナル職名並其氏名

イ、役員

會長 本莊宗三

幹事 平井齊三 同 奧田十太郎

同 阪井武雄 同 秋吉勘三

同 伊藤美津雄

書記 王永福

資産(種目別)

一、器具其他ノ物品 金百圓

維持方法

補助金及事業收益ニ依ル

昭和二年度豫算額 歲入 一、四八六、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 一〇、八九三、九八

昭和三年度豫算額 歲入 一〇、二四〇、二〇

昭和三年度決算額 歲入 四、〇七五、〇〇

昭和三年度豫算額ノ前年度ニ比シ著減セルハ事業ニ關スル收支ヲ特別會計トセシニヨル

獎勵金並補助金下附ノ有無

百圓 恩賜財團御下賜 昭和二年度

百圓 同上 同 三年度

名稱 旅順少年團

事務所所在地 旅順民政署

創設年月日 大正十三年一月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 藤原鐵太郎

沿革概要

大正十三年一月二十六日 結團式

同十三年九月一日 少年團日本聯盟ニ加盟登錄

同十四年四月十二日 少年團日本聯盟總長後藤伯ノ閱團ヲ受ク

同十五年九月二十七日 閑院宮殿下ノ御視閲ヲ受ク

目的及事業種類

イ、目的 體驗ニヨリテ教育シ少年ヲシテ健全有爲ノ國民タラシムルヲ以テ目的トス

ロ、事業 少年團訓練ノ各種、見學、行軍、野營、社會奉仕、競技

會員數及分布狀況

幼年隊 四〇人

少年隊 一二三人

主ナル役職名並其氏名

團長 藤原鐵太郎

副團長 增田道義 同 高橋 司

同 古賀竹次郎

幹事 荒井平馬 同 土方省三

同 龜井三二 同 内野恩三郎

同 堀江好雄

指導員(隊長) 五名

維持方法

補助金勤勞收益團費其他ノ收入ヲ以テ維持ス

昭和二年度豫算額 歲入 五〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 七〇〇、八一

昭和三年度豫算額 歲入 七〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)



二百圓 恩賜財團教化事業獎勵資金ヨリ 昭和二年度  
三百圓 同上 同 三年度

\*\*\*\*\*

名稱 金州會天足會

事務所々在地 金州會事務所内

創設年月日 大正十三年七月十五日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 金州會有志者

ロ、代表者 曹 世 科

沿革概要

大正十三年七月十五日金州有志者カ集合シテ中國婦女經  
足ノ惡習矯正ヲ圖ルヘキ方途ヲ協議シタル結果金州會天  
足勸導會ヲ設立シ大正十五年七月一日元來ノ名稱ヲ金州  
會天足會ト改稱シ爾來加入者ハ漸次増加シ昭和三年ニ於  
テハ總數四四六四名ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 婦女纏足ノ慣習ヲ矯正スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、天足ニ關スル勸導ヲナスコト

二、天足ニ關スル調査ヲナスコト

三、天足ヲ獎勵ニ賞品ヲ給與スルコト

四、天足ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト

會員數及分布狀況

金川城内	一、三四七	新金州	一八九
東門外	七八	西門外	一〇五
南門外	一九七	北門外	八三

主ナル役職名並其氏名

會長	曹 世 科
副會長	霍 官 德
評議員	八 名
勸誘員	五 一 名
書記	馬 錦 雲

維持方法

公共團體ノ補助及篤志家ノ寄附其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	一〇〇、〇〇
	歳出	一〇〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	八九、六〇
	歳出	八九、六〇
昭和三年度豫算額	歳入	一〇〇、〇〇
	歳出	一〇〇、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 皇 道 普 及 會

事務所々在地 大連市聖德街四丁目二番地

創設年月日 大正十三年八月二十三日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 役員 合 議

ロ、代表者 大 石 萬 壽

沿革概要

大正十二年五月八日帝國在郷軍人會總裁閑院宮殿下ノ在  
郷軍人ニ賜リタル御令旨ニ感激シ輓近世界ノ大勢ニ顧ミ  
我皇國ノ現状ヲ憂慮シ慷慨ノ一文ヲ草シ之ヲ大連新聞ニ  
寄ス尋イテ敬神會ヲ組織シ或ハ筆ニ或ハ口ニ我國體ノ骨

目的及事業種類

隨タル惟神ノ大道ヲ説キ思想ノ善導ニ努ム偶々大正十二  
年ノ大震災災ハ御軫念ノ結果十一月十日ノ大詔喚發トナ  
リ畏クモ精神作興ヲ宣セラル此秋ニ方リ別紙ノ如ク謹作  
シ數十萬部ヲ内外ニ頒布ス  
尋イテ大正十三年八月皇道普及會ト改稱シ同志ヲ叫合シ  
テ思想ノ善導ニ努メ今日ニ至ル

イ、目的 目的ハ思想ノ善導ニ在リテ左記綱領ノ貫徹ニ  
在リ皇道普及會綱領

ロ、事業

一、宇宙ノ大本體天之御中主太神ノ顯神タル皇祖ノ  
垂訓ヲ奉戴シ皇道及肇國ノ大精神ヲ中外ニ宣布  
シ全世界ノ大平和ニ貢獻スルコト  
二、天壤無窮ノ皇室ヲ中心トシ教育勸語ヲ中核トシ  
歷朝ノ詔勅ヲ普及シ以テ人心ノ歸一ヲ圖リ質實  
剛健ノ國風ヲ作興スルコト



三、國粹ヲ闡明シ大和民族ノ特性ヲ發揮シ忠君愛國  
信念ヲ深カラシメ義勇奉公ノ精神ヲ涵養スルコ

會員數及分布狀況

現在ノ會員ハ四百七十五名

内譯

旅順市 三十八名  
沿線各地 二十三名  
大連市 四百十四名

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 大石 萬壽  
副會長 吉田 親數 同 小野 實雄  
名譽會長 松岡 右洋 同 顧問 木下 謙治 郎  
同 村岡 長太郎 同 山本 條太郎  
評議員 高柳 保太郎 同 岩井 勘六  
同 田中 千吉 同 立川 雲平

同 村井啓太郎 同 寶性 確成  
外二十九名

幹事 杉原 謙 同 林田 文介  
同 近藤 助作 同 川村 義郎  
同 豐田 志義人

維持方法

會員ノ會費、寄附金、獎勵金、其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度決算額 歲入 一、九〇六、五〇

歲出 二、〇一三、九九

昭和三年度決算額 歲入 三、二九〇、一〇

歲出 四、四六二、五八

大正十三年以來ノ不足金二千三百餘圓也

獎金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

恩賜財團教化事業獎勵資金中ヨリ補助金

金百五十圓 昭和元年度

金百五十圓 同 二年度

金二百圓 同 三年度

\*\*\*\*\*

名稱 修養團普蘭店支部

事務所々在池 普蘭店民政支署内

創設年月日 大正十四年十月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 本莊 宗三

沿革概要

本部ニ同シ

目的及事業種類

目的 修養團本部ノ主義精神ニ基キ明ルキ世界ノ建設ニ  
微力ヲ致シツ、アルモ團勢振ハサルヲ遺憾トス各  
項ニ就テ詳記スヘキモノナシ

會員數及分布狀況

團員數 四十五名

主ナル役職名並其氏名

幹事 高田 九郎 同 井神 貞一  
同 奥田 十太郎 同 岡田 政一郎  
同 椎名 隆治 同 福井 十一

同 西川 房吉

維持方法

有志ノ寄附ニヨル

\*\*\*\*\*

名稱 修養團長春支部

事務所々在池 長春驛庶務室内

創設年月日 大正十四年十月三十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 藤川 卯作

沿革概要

長春在住者中大正十四年夏迄ニ修養團ノ講習ヲ受ケタル  
者約二十名ニ達シタルヲ以テ五十名ノ團員ヲ作り同年十  
月支部ヲ設立シ以來逐次増加シ現在ニ於テハ約三百名ヲ  
算スルニ至リ昭和三年六月婦人部(白ゆり會)ヲ設立シ  
今日ニ至ル

目的及事業種類



イ、目的 本部ニ同シ

ロ、事業 早起會(毎朝)向上會(毎月十一日)白ゆり會

(毎月二十一日)講習會、講演會ハ隨時開催ス

會員數及分布狀況

男子 約二百名

女子 約百名

長春在住者ニテ支部ヲ組織ス

主ナル役職名並其氏名

支部長 藤川卯作

幹事長 仁保慰貫

幹事男子 十八名

同 女子 十八名

評議員 十二名

賛助員 十二名

顧問 森川勉 同 島名福十郎

同 土肥顯 同 久保田金平

資産(種目別)

現在基金 七百三十一圓八十五錢

維持方法

寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額 歳入 八八二、五一

歳出 七一三、七三

昭和三年度決算額 歳入 八九六、七一

歳出 七三三、四五

\*\*\*\*\*

名稱 日本メソジスト營口教會日曜學校

事務所々在地 南滿洲營口新市街南街

創設年月日 大正十四年秋

經營主體又ハ代表者 代表者 營口日本メソジスト教會

沿革概要

大正四年頃營口在留岡林寅五郎(目下營口シンガーミン  
ン會社出張所々長ニシテ營口基督教徒ノ元老ナリ)宅ニ

資産(種目別)

信徒有志寄附金ニテ購入セル書籍數冊アリ

維持方法

母教會ヨリ必要額ノ補助ヲ受ケ之ヲ支辨ス

生徒ヨリノ献金ハ主ニ日支慈善事業ニ寄附ス

昭和二年度決算額 歳入 五〇、〇〇

歳出 一五〇、〇〇

昭和三年度決算額 歳入 六〇、〇〇

歳出 一六〇、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 修養團滿洲聯合會

事務所々在地 大連市山城町五番地

創設年月日 大正十五年七月九日

經營主體又ハ代表者 經營主體 理事合議制

代表者 岩井勘六

於テ日曜學校ヲ開キタルコトアリシモ其後中絶大正十四  
年現在ノ場所ヲ借受ケ在留邦人信徒及有志ノ集會行ハル  
ルニ至リ爾來漸次發展シツツアリ  
昭和二年四月日本メソジスト營口教會ノ設立セラルルヤ  
定住牧師ノ來任アリテ其ノ教導ヲ受ケ内容ノ改善ヲ見ツ  
、アリ

目的及專業種類

目的 幼兒及小學校兒童ニ對シ基督教的宗教ヲ育ヲナス

會員數及分布狀況

日曜學校 教師五名 生徒五十餘名

營口新市街及舊市街ノ邦人(内鮮人兒童數名アリ)兒童ナリ

主ナル役職名並其氏名

日曜學校長 片桐卓

牧師 白石和三

教會幹事長 岡林寅五郎



沿革概要

福島縣會津ノ一寒村ニ呱呱ノ聲ヲ學ケタル連沼門三氏ハ  
東京青山師範在學時代、夙ニ青青年ノ氣風徒ラニ放縱浮  
華ニ流ル、ヲ憂ヒ、個人ノ精神修養ハヤカテ明ルキ社會  
ヲ建設シ、皇國ノ礎ヲ磐石ノ堅キニ置クモノトノ堅キ信  
念ヲ抱キ、流汗鍛鍊、同胞相愛ヲ二大モットトシ、總  
親和、總努力、ノ實ヲ學ケント明治三十九年二月十一日  
修養團ヲ創設シタリ、爾後二十四年ノ辛酸ヲナメテ現今  
日本ノ津々浦々(日の丸)ノ國旗ノ翻ル所三角旗(修養團  
々旗)ノ翻ラサル所ナキ状態ニ至レリ、  
本會ハ滿洲ニ於ケル三十二支部ノ本部ニシテ、大正十五  
年七月十日創設セラレ、東京本部ト各支部ノ中間ニアリ  
テ專ラ滿洲ニ於ケル本團々勢ノ擴張、在滿邦人ノ國民精  
神作興ヲ目指シテ事業ヲ爲シツ、アリ、

目的及事業種類

- イ、目的 滿洲ニ於ケル修養團各支部並ニ支部ニ屬セサ  
ル團員ノ連絡統一ヲ計リ修養團ノ精神ヲ實現  
シ普及スルヲ以テ目的トス
  - ロ、事業 一、修養講習會(男子、女子)ノ開催  
二、修養會講演會ノ開催  
三、宣傳印刷物ノ配布  
四、其ノ他本會ノ目的達成ニ必要ナル事業
- 會員數及分布狀況  
滿洲各地ニ亘ル支部三十二  
團員數 正、準、合計約七千名 内正團員 三千八百名
- 主ナル役職名並其氏名
- 理事長 岩井 勘 六
  - 理事 高岡又一郎 同 村田 懿 磨
  - 同 出 原 佃 同 藤 根 壽 吉
  - 同 藤田 偵 次 郎 同 福 田 熊 治 郎
  - 同 小 倉 鐸 二

維持方法

寄附金、補助金

昭和年三度豫算額

歳出	一〇、六六〇、〇〇
歳入	六、五〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

- 一金七百圓 恩賜財團教化事業獎勵下附金 昭和三年
- 一金一千圓 關東廳ヨリ補助金 //
- 一金四千圓 滿鐵會社ヨリ補助金 //

\*\*\*\*\*

名稱 長春青年義勇團

事務所々在 地 長春敷島通一長春實業補習學校内

創設年月日 大正四年十月三十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 四戸友太郎

沿革概要

未丁年者ノ心身修養鍛鍊ヲナサンタメ在郷軍人分會長實

目的及事業種類

イ、目的 大正四年九月十五日内務、文部兩大臣ノ訓示

ニ基キ青年者心身ノ修養及鍛鍊ヲナシ健全ナル國民タルノ資質ヲ養成スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、智徳ノ修養
- 二、教練其他體育ノ練磨
- 三、一朝有事ノ際長春義勇團ノ補助機關トシ



テ活動スルコト

會員數及分布狀況

會員數 七十名

- 團長 四戸友太郎
- 副團長 藤川卯作
- 青年訓練所主事 藤川卯作
- 健兒團長 土肥 顯
- 同主事 竹下國雄

資産(種目別)

- 一、基本金 七百十九圓四十錢
- 二、團旗其他器具 二百圓
- 計 九百十九圓四十錢

維持方法

臨時會費、寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額	歳入	二〇〇、〇〇〇
	歳出	一八六、六一
昭和三年度豫算額	歳入	二〇五、七九
	歳出	一八六、六一

イ、目的 明るき社會の建設

ロ、事業 一、社會教化事業

二、奉仕事業

三、精神修養事業

會員數及分布狀況

會員數 百二十名

主ナル役職名並其氏名

- 支部長 近藤 勘助
- 顧問 石川 翠

維持方法

會費ニヨリ維持

昭和三年度豫算額	歳入	二〇〇、〇〇〇
	歳出	一六二、〇〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一六二、〇〇〇
	歳出	二五〇、〇〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	二五〇、〇〇〇
	歳出	二五〇、〇〇〇

\*\*\*\*\*

昭和三年度豫算額

歳入 一〇〇、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 修養團鷄冠山支部

事務所々在地 滿洲鷄冠山機關區

創設年月日 大正十五年八月十五日

沿革概要

修養團ノ本旨ニ賛シ此ノ趣旨ヲ布愆シ以テ國威發展ノ第一線ニ立タントスル同志相聚リ大正十五年八月十五日盛大ニ發會式ヲ舉ク

爾來益々加入者増加シ現在ニ於テハ約百二十名ノ會員ヲ有セリ其數多シトセサルモ何レモ眞摯ナル態度ニテ社會倫理化ノ第一線ニ立チ活動シツ、アリ

今ヤ滿洲到ル處支部ノ設立スルアリ大連ニ於ケル滿洲聯合會之ヲ統轄聯絡機關トシテ斯道ノタメ盡瘁シツ、アリ

目的及事業種類

名稱 旅順初等教育會

事務所々在地 旅順第二小學校内

創設年月日 大正十五年十一月二十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 古賀竹次郎

沿革概要

一、旅順市初等學校即チ旅順第一、二小學校、旅順師範學堂附屬公學堂、旅順公學堂、水師營公學堂ノ五校職員(支那人教師ヲ含ム)ノ奮起ニヨリ大正十五年十一月二十七日旅順公學堂ニ於テ發會式ヲ舉ク

一、昭和三年十月二十二日本會主催ノ下ニ旅順初等學校聯合シテ御大典奉祝音樂會ヲ開キ畏クモ 高松宮殿下ノ臺臨ヲ仰ケリ

目的及事業種類

イ、目的 教育ノ改善進歩ヲ圖リ兼テ會員相互ノ親睦ヲ敦クスルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、研究部ヲ設ケテ研究調査及印刷物ノ發行



- ヲナス
- 二、社會部ヲ設ケテ社會教化ニ關スル事業ニ從事ス
  - 三、體育部ヲ設ケテ體育ノ向上ヲ圖ル
  - 四、其他目的達成上必要ナリト認メラル、事項

會員數及分布狀況

- 第一小學校 二五
- 第二小學校 一七
- 附屬公學堂 一九
- 旅順公學堂 二五
- 水師營公學堂 一四

計 一〇〇

主ナル役職名並其氏名

- 會長 古賀竹次郎
- 相談役 高橋 司 同 古野保一郎
- 同 山口二郎 同 良川榮作

民政署ヨリ 二百圓

關東廳ヨリ 二百圓

\*\*\*\*\*

名稱 修養團鐵嶺支部

事務所々在池 南滿洲鐵嶺機關區

創設年月日 昭和二年四月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 岩 永 唯一

沿革概要

數年來關東廳及滿鐵會社ニ於テ修養團精神ノ普及ヲ目的トシ講習會開催ノ結果逐年同志者ノ増加ニ伴ヒ支部設立ノ氣運ニ到達セシヲ以テ昭和三年四月三日神武天皇祭ノ佳日ヲトシ鐵嶺支部發會式ヲ舉クルニ至レリ爾來年ト共ニ向上今日ノ盛大ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 國際的思想ノ淨化ニヨリ世界遍照汗愛精神ノ

幹事 小川 與市 同 本田 宥英

同 渡邊 義廣

研究部 柴谷與助、伊東二雄、明星正民、村 貫行、須藤精一郎

社會部 中田正藏、内野恩三郎、兵頭隆市、安藤政吉

田村藤兵衛、于月英

體育部 南喜市、福田哲甫、堀江好雄、高橋三郎、

羽場尙恕、韓岡靈、邱德新

維持方法

會員ノ會費ヲ基本トシ市役所、民政署、關東廳ヨリノ補助ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 五八〇、六〇

昭和二年度決算額 歲入 五八〇、六〇

昭和三年度豫算額 歲入 七一〇、三七

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

市役所ヨリ 二年度 百五十圓 三年度 百五十圓

普延ヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、聯合會ニヨリ各支部トノ聯系ヲ保ツ

二、教化事業ノ調査研究ヲナス

三、時々修養上ノ講演會ヲ開催ス

四、其他目的達成上必要ナル施設ヲナス

會員數及分布狀況

設立當時正會員數百五十三名逐年增加現在會員數二百二十八名

主ナル役職名並其氏名

- 支部長 岩 永 唯一
- 幹事 加藤 靜 同 阿部 衛守
- 同 千田宗次郎 同 佐武 金治
- 同 志滿 虎二 同 藤枝岸四郎

資産(種目別)

現在基金 二百五十圓

維持方法

寄附金及汗愛會ヨリ得タル淨財



昭和二年度豫算額	歳入	四〇〇、〇〇
	歳出	四〇〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	三〇〇、〇〇
	歳出	三〇〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	二〇〇、〇〇
	歳出	二〇〇、〇〇
昭和三年度決算額	歳入	二五〇、〇〇
	歳出	二五〇、〇〇
昭和四年度豫算額	歳入	二〇〇、〇〇
	歳出	二〇〇、〇〇

\*\*\*\*\*

### 名稱 大連青年團

事務所々在地 大連市役所内  
 創設年月日 昭和二年四月二十九日  
 經營主體又ハ代表者 代表者 石本鑽太郎  
 沿革概要

時代ノ進運ニ鑑ミ當大連市ニ青年團創立ノ必要ヲ認メ有  
 志ノ奔走盡力ニ依リ昭和第一回天長節(四月二十九日)發

會式ヲ舉行シ茲ニ大連青年團生マル

#### 目的及事業種類

- 一、目的 國民精神ノ振作、智徳ノ修養、身體ノ鍛鍊ヲ圖リ健全ナル國民善良ナル公民タルノ修養ヲ爲スヲ以テ目的トス
- 二、事業 一、遙拜式舉行
- 二、講習會、講演會
- 三、體操、擊劍、柔道、乘馬、水泳、遠足、登山其ノ他各種ノ競技運動ノ練習
- 四、社會的公共的施設並愛市の事業ノ援助協力
- 五、其ノ他本團ノ目的ヲ達スル爲メ必要ナル事項

#### 會員數及分布狀況

團員數 三月末現在  
 名譽團員 三十六名  
 普通團員 三百十六名

#### 主ナル役職名並其氏名

團長	石本鑽太郎	
副團長	小數賀政市	
理事	小野實雄	同 赤松鹿之助
	吉村英吉	同 榊谷仙次郎
	高橋仁一	同 森川常三郎
	小泊六翁	同 杉山嘉雄
	有倉善次	
事務員	里村範吾	

#### 資産(種目別)

三月末現在 差引有高 五十七圓七十三錢

#### 維持方法

會費、補助金、篤志者ノ寄附金其他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

昭和二年度豫算額	歳入	四、五一九、二〇
	歳出	四、五一九、二〇
昭和二年度決算額	歳入	一、八八七、一五
	歳出	二、二二四、八七
昭和三年度豫算額	歳入	一、八九七、七二
	歳出	一、八九七、七二

#### 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

二百圓 創立費補助金南滿州鐵道株式會社  
 百圓 水曜會(銀行組合)  
 百圓 大連市役所  
 二百圓 關東廳教化事業獎勵資金 昭和三年度補助金  
 備考  
 普通會員ノ會費ハ一ヶ月金十錢トス

\*\*\*\*\*

#### 名稱 撫順青年團

事務所々在地 撫順輸入組合(臨時事務所)  
 創設年月日 昭和二年九月一日  
 經營主體又ハ代表者

- 一、經營主體 修 養 團 體
- 二、代表者 紀 井 一

#### 沿革概要



昭和二年九月一日結團式舉行

撫順實業青年團ト稱ス

昭和三年八月一日

團旗奉戴ヲ撫順神社前ニ行フ

昭和三年九月一日撫順青年團ト改稱ス

昭和三年九月四日御大典奉祝大日本聯合青年團第四回大會ニ出席スルコト、ス

目的及事業種類

イ、目的 善良ナル國民精神ノ涵養

ロ、事業 一、神社參拜、國旗掲揚

二、座談會、遠足會、雄辯會

三、郷土の諸運動

四、柔道部

會員數及分布狀況

八十名 撫順一團

主ナル役職名並其氏名

團長 紀 井 一

副團長 西川清兵衛

同 瀨田修逸

幹事 原口正徳

同 福田久義雄

同 豊田菊次郎

同 同 森山榮治郎

同 宮地宮松

同 同 柴田寛輔

同 坂口滿男

同 同 前田徳之助

同 吉尾 適

同 同 是 枝 豊

同 岡田國男

同 同 月野一霽

同 柏原喜四郎

同 同 萩野滿次郎

同 安武榮治郎

\*\*\*\*\*

維持方法  
寄附金、團費

名稱 鐵嶺少年健兒團

事務所々在 地 鐵嶺尋常高等小學校

創設年月日 昭和三年五月二十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 藻寄準次郎

沿革概要

昭和三年四月汾陽光二中將閣下ノ盡力ニヨリ五月二十七日ヨリ訓練ヲ開始シ十一月十六日御大典ヲトシテ鐵嶺神社々頭ニテ結團式ヲ舉行シ聯盟本部ニ申込ミテ十一月二十六日加盟登錄七〇一號ヲ以ツテ加盟ヲ了ス

目的及事業種類

少年團日本聯盟ノ誕ニ從ツテ事業ヲ遂行シツ、アリ

員會數及分布狀況

會員數 役員 四名

名譽贊助員 三十名

團員 十名

主ナル役職名並其氏名

團長 藻寄準次郎

副團長 日髮隆勝

主事 鈴木善作

指導員 五十嵐金平

資産(種目別)

備品 二百五十圓

維持方法

寄附金、及農業實習費ヨリノ收入ニヨル

昭和三年度豫算額

歳入 四五〇、〇〇〇  
歳出 四〇〇、〇〇〇

備考

滿洲ニ於ケル少年團運動ニ盡力シツツアリ



\* \* \* \* \*

### 名稱 長春健兒團

事務所々在地 南滿洲長春吉野町一丁目二番地

創設年月日 昭和三年一月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 土 肥 顯

#### 沿革概要

昭和二年十一月長春青年義勇團關係者有志ヲ以テ少年團ノ研究ニ着手シ爾來研究調査ヲ重ネタル結果昭和三年一月三日元始祭フトシ結團式ヲ舉ケ團員二十名ノ結束ナリタルヲ以テ團長、理事、主事、指導者ヲ置キ各種ノ訓練ヲ行ヒ少年社會教育ニ從事セリ

昭和三年十二月十二日故後藤新平總長訪露通過ニ際シ驛頭ニ於テ閱團及講話アリ

昭和三年四月二十九日新入健兒二十一名入團セリ同年七

理事 諫 山 鄉 視 同 田 城 作 之  
同 久 永 重 男 主 事 竹 下 國 雄  
同 森 清

#### 資産(種目別)

一 器具其他物品 七十圓

二 團 費 四十圓

合計 百十圓

#### 維持方法

團員團費(年額一圓也)團員勞力提供ニ對スル報酬、寄附金及其  
他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 五二七、九一 円  
歲出

#### 備考

本團ハ創立以來地方官民ノ深厚ナル指導ト團員ノ一致協力トニ  
依リ既往ノ事業成績良好ニシテ本年度ヨリ左記ノ通り補助金ノ  
下附アル筈ナリ

一、關東廳

一、南滿洲鐵道株式會社

月二十一日少年團日本聯盟加盟方申請中ノ處認可サル  
目的及事業種類

イ、目的 少年團日本聯盟ノ宣誓、おきてニ基キ健全有

爲ノ團員ヲ養成シ一般青少年思想風紀ヲ向上

セシムルヲ以テ目的トス

ロ、事業

神宮及皇居遙拜並ニ神社參拜

A、實習訓練 講演及講話、野營生活、教練

見學旅行、各種ノ實習

武道其ノ他運動競技

B、社會奉仕 消防補助、諸會場々内整理、

公共物ノ擁護

#### 會員數及分布狀況

本團員數ハ目下六十名ニシテ其ノ内譯ヲ示セハ左ノ如シ

青年隊 十五名 少年隊 四十五名

#### 主ナル役職名並其氏名

團長 土 肥 顯 副團長 上 原 種 豊



昭和四年八月十日印刷  
昭和四年八月十五日發行  
〔實費金五圓〕

編輯兼  
發行者 古谷敬二

印刷人 杉田彌太郎  
印刷所 杉田屋印刷所

發行所  
財團法人 中央教化團體聯合會  
東京市麴町區大手町  
內務省社會局分室



工ト5X-95













